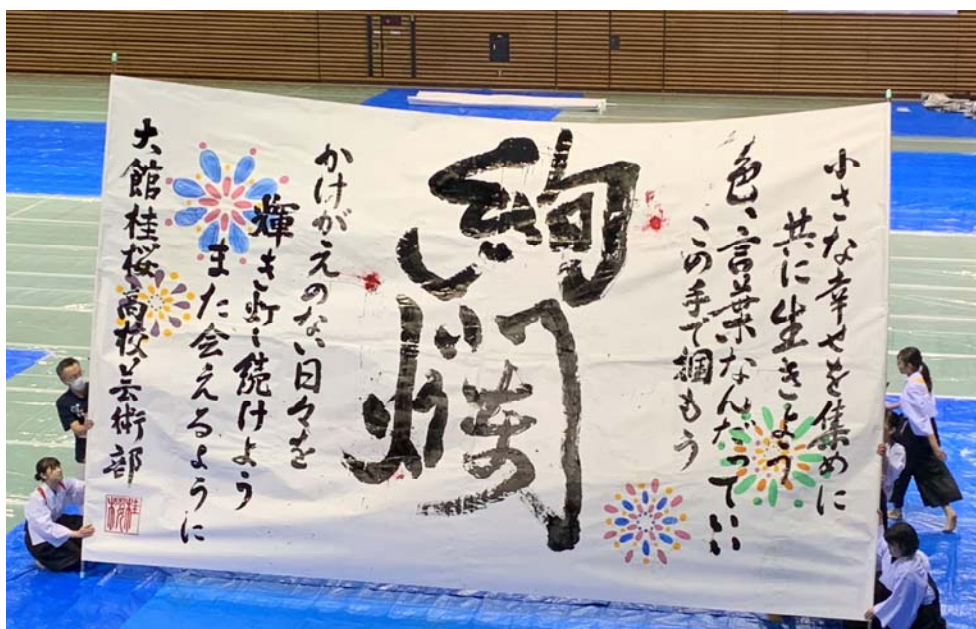


教育要覧 2022

大館市の教育



令和3年度 伝統文化親子教室



令和3年度 大館市・南種子町児童交流事業

大館市教育委員会

教 育 要 覧 2022

大 館 市 の 教 育

大 館 市 教 育 委 員 会

まちや暮らしのなかで市民が 【教育大綱】

基本理念

**ふるさとに学び
未来を創造できる
「人財」の育成**

基本目標

信頼と安全を築く教育環境の整備充実

**ふるさとを担う「未来大館市民」を
育成する学校教育の深化**

**ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習
の推進と支援**

**郷土の歴史と文化を学び、大館びとの
誇りを醸成する**

活躍し、次代を育む“教育文化都市”

基本目標：信頼と安全を築く教育環境の整備充実

重 点 施 策	担当部署
1 安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る 2 豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める 3 大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める	教育総務課

基本目標：ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

重 点 施 策	担当部署
1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める 2 地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る 3 共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業（響学）を推進する 4 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する	学校教育課 教育研究所

基本目標：ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援

重 点 施 策	担当部署
1 ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める 2 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する 3 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する 4 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する 5 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める 6 伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	生涯学習課 中央公民館 地区公民館 市民交流センター

基本目標：郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する

重 点 施 策	担当部署
1 大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する 2 郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する 3 文化財の保護と調査を進め、未来に伝える 4 歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める	歴史文化課

目 次

大館市の教育大綱

教育委員会	1
-------	---

第1編 教育行財政

大館市の概況	2
教育予算	3
教育委員会の機構	5
事務局職員	6
各施設職員	7

第2編 生涯学習

令和4年度大館市生涯学習推進計画	8
------------------	---

第3編 学校教育

学校教育の基本方針	1 1
幼稚園の概要	1 4
学校の概要	1 5
学校施設等の概要	1 6
教育研究所	2 2
教育研究会	2 4
大館市立小学校・中学校所在地	2 6

第4編 保健・給食

学校保健	2 7
学校給食	2 8

第5編 社会教育

第7次大館市社会教育中期計画策定構想	2 9
令和4年度大館市社会教育推進計画	3 0
大館市における社会教育の基本方針	3 0
令和4年度大館市社会教育推進の重要施策	3 0
社会教育施設一覧・利用状況	3 2
各施設の概要	3 9
社会教育関係団体とその活動	5 7
社会教育施設所在地	5 8

第6編 文化財・芸術文化

文化財保護の概要	6 0
芸術文化振興の概要	6 0
各施設の概要	6 1
指定文化財一覧	6 9
登録文化財	7 0
名園・名木一覧	7 0
芸術文化、文化財保護関係団体	7 1

第7編 資料

各種委員名簿	7 2
大館市生涯学習推進要綱	7 8
大館市生涯学習推進本部体制	8 1

教 育 委 員 会

1. 事務局

〒018-3595 秋田県大館市早口字上野4番地1（田代総合支所内）

- ・教育総務課 (TEL) 0186-43-7111 (FAX) 0186-54-6100
- ・学校教育課 (TEL) 0186-43-7112 (FAX) 0186-54-6100
- ・生涯学習課 (TEL) 0186-43-7113 (FAX) 0186-54-6100

〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地（大館郷土博物館内）

- ・歴史文化課 (TEL) 0186-43-7133 (FAX) 0186-48-2512

2. 教育長・教育委員

職 名	氏 名	委員等歴	摘 要
教 育 長	高 橋 善 之	H22. 4. 1 R 7. 3.31	
委 員	山 田 和 人	H26. 3.24 R 8. 3.23	教育長職務代理者
委 員	根 田 穂美子	H20.12.25 R 6.12.24	
委 員	工 藤 啓 子	R 2. 4. 1 R 6. 3.31	
委 員	小笠原 正 卓	H28.12.25 R 4.12.24	



教育長
高橋 善之



教育長職務代理者
山田 和人



委 員
根田 穂美子



委 員
工藤 啓子



委 員
小笠原 正卓

第1編 教育行財政

大館市の概況



大館学び大学（令和3年11月プレオープン）

大館市は、秋田・青森・岩手3県の北東北の中心部に位置し、古くから天然秋田杉をはじめとする豊かな自然に恵まれ、農林業や鉱業と共に、伝統工芸や文化的遺産など豊富な資源を有し、栄えてきました。新たなまちづくりとして、「ひと」「暮らし」「まち」が相互に関わり合いながら、本市の未来につながるものがたり（歴史）をつくることを基本理念と位置付け、将来の大館を市民とともに創造することを目指しています。

また、教育・文化の分野においては「まちや暮らしのなかで市民が活躍し、次代を育む“教育文化都市”」を都市像と定めています。生涯にわたり、ふるさとを愛して自立的に生きる基礎を培う「ふるさとキャリア教育」を中心として、市民が主役となってまちや暮らしの中で活躍し、次代を担う人財を育むまちを目指しています。

☆人口及び面積

（令和4年5月末日現在）

人 口 (人)	世 帯 (世帯)	面 積 (k m ²)	人口密度 (人/k m ²)
68,741	31,626	913.22	75

☆市制施行年月日

昭和26年4月1日

☆市三役

市 長 福 原 淳 嗣
副市長 名 村 伸 一
教育長 高 橋 善 之

☆市議会議員及び副議長

議 長 藤 原 明
副議長 田 中 耕太郎

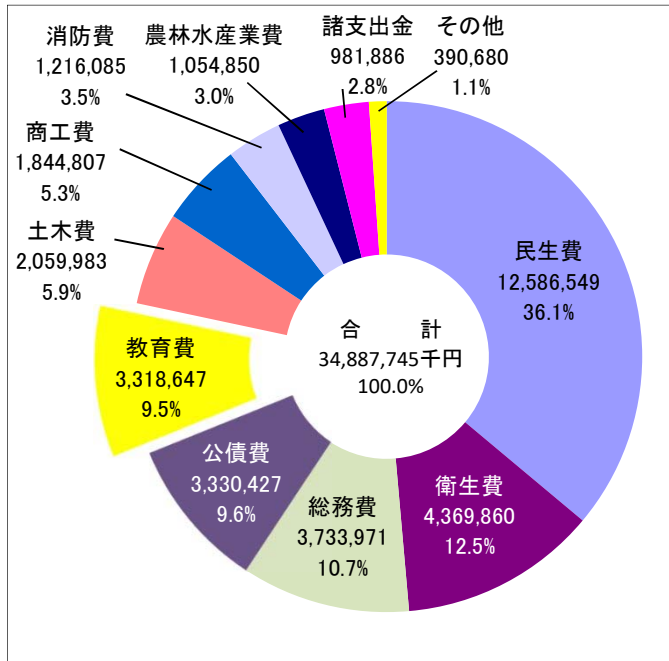
教 育 予 算

令和4年度 予算の内訳（当初予算ベース）

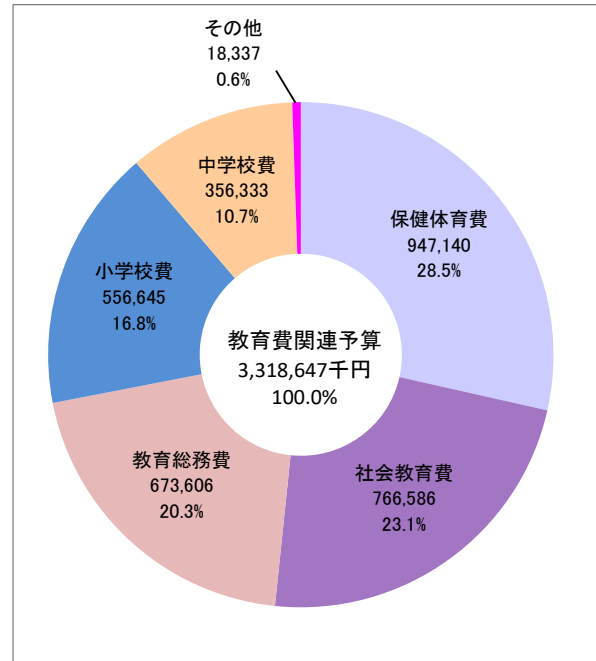
（単位：千円）

項 目	予 算 額	項 目	予 算 額
1. 教育総務費	673,606	5. 保健体育費	947,140
（1）教育委員会費	2,671	（1）保健体育総務費	350,328
（2）事務局費	340,052	（2）体育施設維持及び改良費	259,660
（3）教育助成費	10,278	（3）給食管理費	311,962
（4）義務教育研修費	1,224	（4）給食施設維持及び改良費	25,190
（5）学務費	72,426		
（6）特別支援学級費	1,114		
（7）教育施設整備基金費	2	教育費合計	3,300,310
（8）教育研究所費	40,577		
（9）文教振興施設費	198,719		
（10）交流文化事業費	6,543	6. 北地区コミュニティセンター費	18,337
2. 小学校費	556,645		
（1）学校管理費	373,046		
（2）教育振興費	102,542		
（3）施設維持及び改良費	81,057		
3. 中学校費	356,333	教育関係予算合計	3,318,647
（1）学校管理費	236,877		
（2）教育振興費	72,080		
（3）施設維持及び改良費	47,376		
4. 社会教育費	766,586		
（1）社会教育総務費	60,387		
（2）公民館費	164,177		
（3）公民館事業費	7,185		
（4）施設維持及び改良費	55,133		
（5）図書館費	79,091		
（6）文化費	72,116		
（7）青少年健全育成費	685		
（8）生涯学習費	29,296		
（9）児童育成費	180,591		
（10）鳥潟会館費	11,945		
（11）少年相談センター費	4,175		
（12）あやめ苑管理費	465		
（13）郷土博物館費	90,462		
（14）交流センター費	10,878		

令和4年度一般会計歳出予算



教育費予算内訳



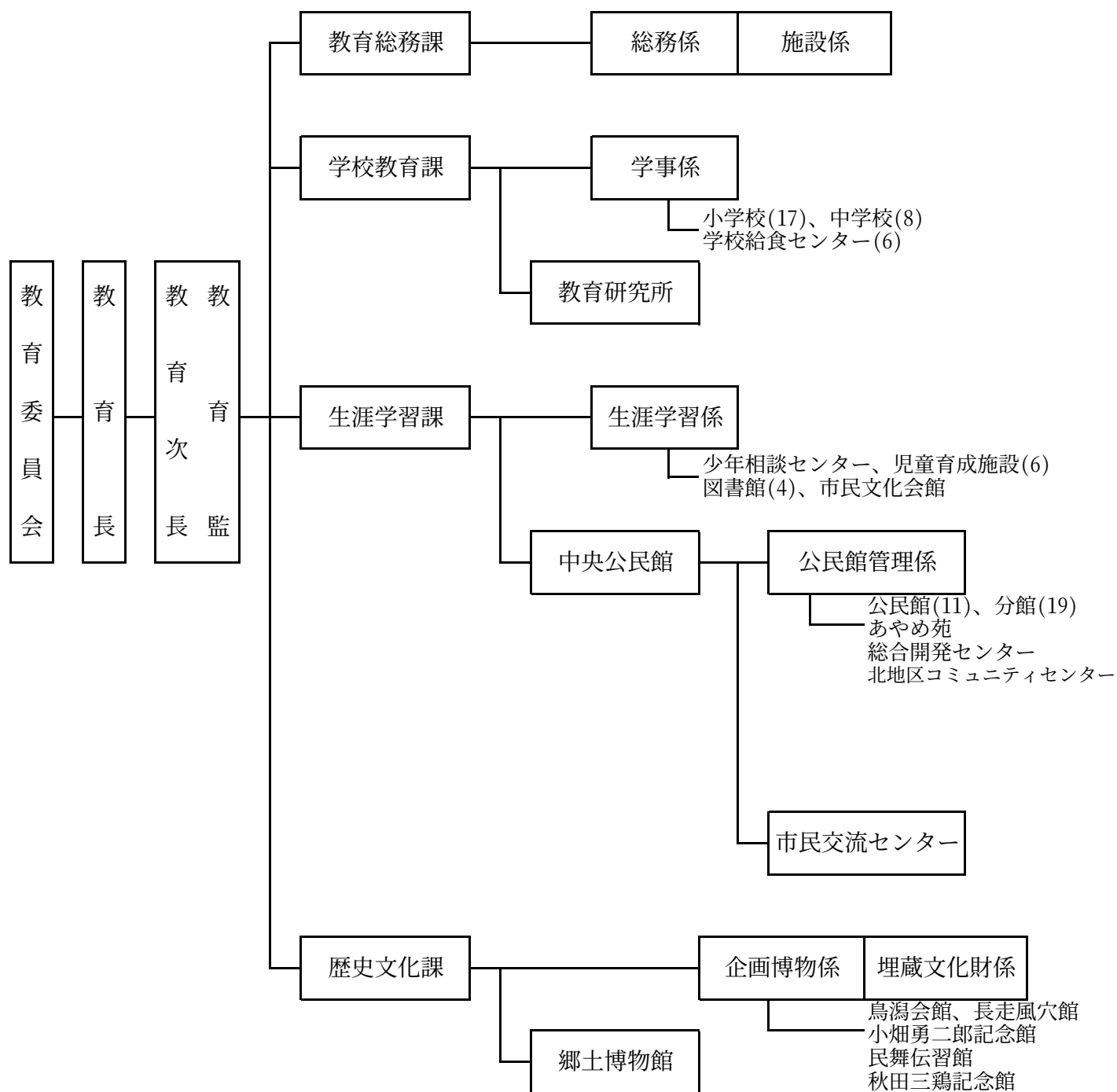
(※労働費のうち、北地区コミュニティセンター費は教育費に算入し、その他として分類)

令和4年度重点施策（教育費）

(単位：千円)

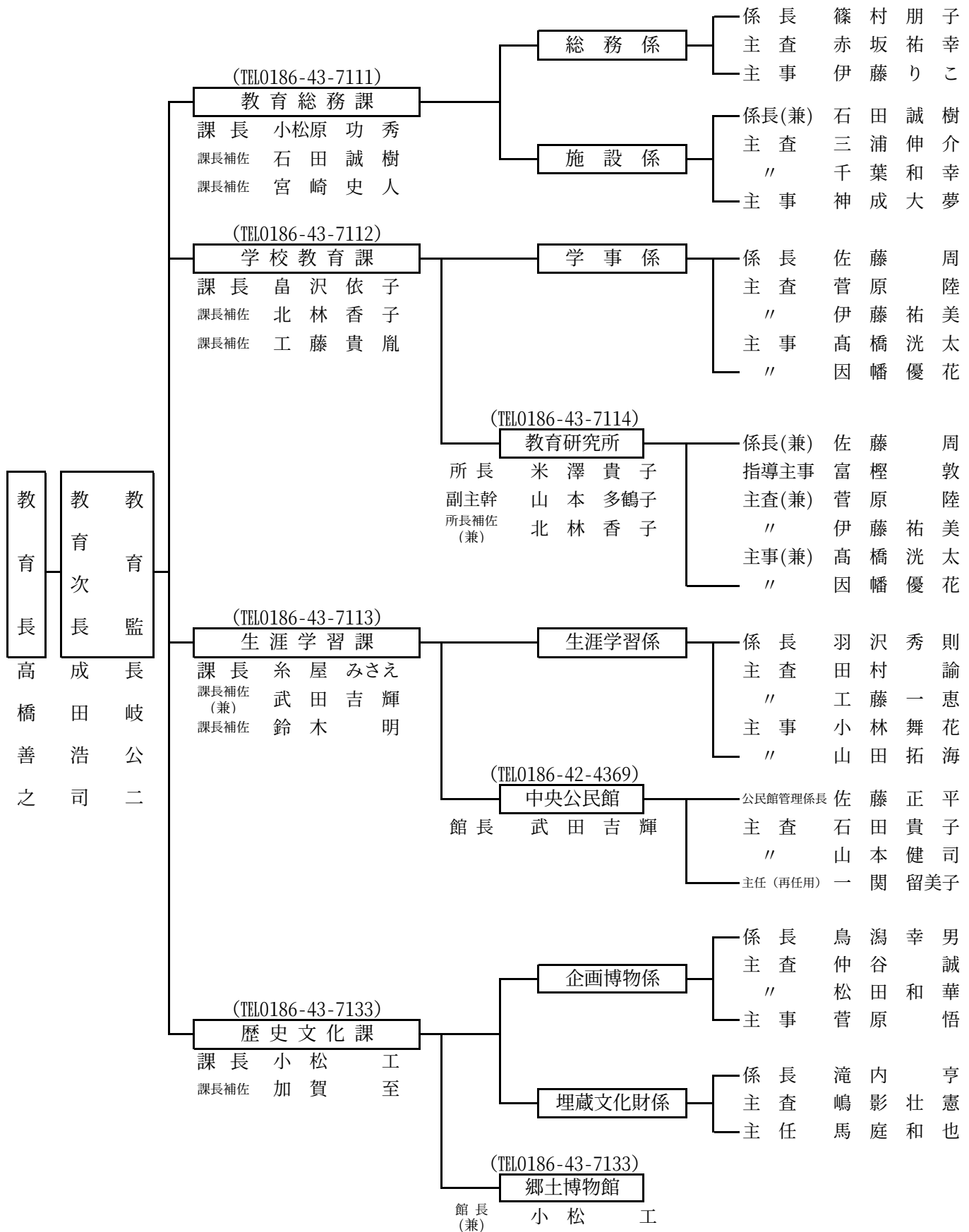
事業名	事業費	内容
おおだて型教育発信事業	9,549	地域おこし協力隊活用事業
ふるさとキャリア教育夢事業	8,563	
(拡) ICTを活用した授業改善支援事業	4,500	
GIGAスクール推進事業	38,564	
学校図書整備事業	4,105	
小学校英語教育推進事業	4,067	
育ちと学び支援事業	2,283	
スクールカウンセラー配置事業	4,666	
語学指導助手 (ALT) 5人	26,720	
部活動指導員配置事業	1,476	
特別支援教育支援員派遣事業	67,767	
曲げわっぱ学校給食活用事業	2,184	全小学校4～6年生
小・中学校改修工事費	69,361	小学校17校、中学校8校
小・中学校スクールバス事業	81,289	南小、矢立小、西館小、東館小、早口小、山瀬小、長木小、東中、比内中、田代中、北陽中
大館版リカレント教育事業	27,964	(一財) 文教振興事業団への指定管理料、自主事業委託料
鳥潟会館庭園整備事業	3,125	
市民文化会館管理運営、自主事業	77,862	
図書館管理運営	74,987	※特別会計予算
奨学資金貸付金	18,960	

教育委員会の機構（R4. 4. 1現在）



※注 （ ）内の数値は施設数

事務局職員 (R4. 4. 1現在)



各 施 設 職 員

釈迦内公民館 (Tel0186-43-7117)

館 長 (非常勤)	小 田 春 幸
係 長 (再任用・併任)	桂 田 中 太
主 任	外 館 裕 太

長木公民館 (Tel0186-43-7118)

館 長 (非常勤)	三 浦 栄 一
係 長 (再任用・併任)	佐々木 金 義
主 事	桂 田 岳

上川沿公民館 (Tel0186-42-0836)

館 長 (非常勤)	本 多 博 雄
係 長 (再任用・併任)	兜 森 和 晴

下川沿公民館 (Tel0186-49-0271)

館 長 (非常勤)	佐 藤 眞 人
係 長 (併任)	小 林 聖 一

真中公民館 (Tel0186-49-5928)

館 長 (非常勤)	武 田 豊
係 長 (併任)	佐 藤 竜 哉

二井田公民館 (Tel0186-49-4121)

館 長 (非常勤)	松 田 誠 行
係 長 (併任)	長 崎 浩

十二所公民館 (Tel0186-43-7123)

館 長 (非常勤)	吉 成 真
係 長 (併任)	渡 部 甚 弘

花岡公民館 (Tel0186-43-7124)

館 長 (非常勤)	伊 勢 善 和
係 長 (併任)	篠 村 裕 紀

矢立公民館 (Tel0186-43-7125)

館 長 (非常勤)	若 松 俊 一
係 長 (併任)	岩 谷 憲 昭

比内公民館 (Tel0186-43-7141)

館 長 (非常勤)	神 成 幸 忠
係 長	嶋 田 昌 歌
会計年度任用職員	小 玉 紀菜美
〃	佐 藤 美 子

田代公民館 (Tel0186-43-7126)

館 長 (非常勤)	伊 藤 康 栄
係 長	幸 坂 堯
会計年度任用職員	成 田 恵 子

市民交流センター (Tel0186-49-7028)

館 長 (兼務)	武 田 吉 輝
会計年度任用職員	河 田 美智子
〃	佐々木 圭 子
〃	月 永 彩 香
〃	長 崎 恵 美

郷土博物館 (Tel0186-43-7133)

館 長 (兼務)	小 松 工
会計年度任用職員	荒 谷 由季子
〃	明 石 万太郎

秋田三鶏記念館 (Tel0186-43-7133)

会計年度任用職員	山 内 常 代
〃	戸 館 隆
〃	武 田 賢 作
〃	白 川 チエ子

長走風穴館 (Tel0186-51-2005)

会計年度任用職員	蛇 川 嘉 久
〃	秦 武 志
〃	成 田 重 二
〃	笹 島 義 彦

鳥潟会館 (Tel0186-46-1009)

会計年度任用職員	一町田 久美子
〃	山 内 常 代
〃	笹 島 真理子
〃	川 田 光 彦

少年相談センター (Tel0186-42-0769)

会計年度任用職員 (相談専門員兼所長)	高 橋 秀 一
会計年度任用職員 (少年指導・相談員)	櫻 庭 博 子

第2編 生涯学習

令和4年度大館市生涯学習推進計画

教育基本法第3条（生涯学習の理念）

平成18年12月

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

平成18年、教育基本法が60年ぶりに改正され、第3条には「生涯学習の理念」、第10条には「家庭教育」に関する条項が新設されました。また、平成17年6月に中央教育審議会は文部科学大臣から「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」の諮問を受け、平成20年に「～知の循環型社会の構築を目指して～」を答申しました。同会はその中で、「国民一人ひとりの生涯を通じた学習支援」と「社会全体の教育力の向上」の2つにその方向性を示し、すべての人に等しく学習の機会が開かれ、生涯を通じ一人ひとりが自己を磨き、高める社会を創造し、「教育立国」を実現することがわが国の目指す道であるとしています。

本県では、他県に先駆け、昭和45年に「生涯教育の推進」を県政の重要課題に掲げ、翌46年に策定した「生涯教育推進要綱」を、平成元年には「生涯学習推進要綱」として改定しています。本市においては、平成9年に「大館市生涯学習推進要綱」を定め、生涯学習の条件整備を進める具体的方策を幅広く展開して、今日に至っています。

この間、産業構造の変化に加え、情報化、少子高齢化、グローバル化など、大きく社会情勢が変化する中で、それぞれの生活の場や成長の段階に応じて学習ニーズの高度化、多様化はさらに進んでいます。その波及により、家庭や社会の教育力は低下し、地域コミュニティの崩壊による地域住民同士の関係の希薄化等の問題も指摘されるようになり、地域の教育力を再生することが一層難しい課題となっています。

1. 生涯学習推進方針

生涯学習は「人々が自己の充実・啓発や生活の向上のために、自発的意思に基づいて行うことを基本とし、必要に応じて自己に適した手段・方法を自ら選んで、生涯を通じて行うもの」と定義づけられています。このため、多くの場合、生涯学習は「個人の活動」と捉えられがちですが、教育基本法第3条では、「国民一人ひとりが生涯学習によって得た成果を「適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されており、かつ前述の平成20年度中央教育審議会答申では、各個人が自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献する「知の循環型社会」の構築が、社会全体の活力を持続できる基盤であるとまとめられています。

それらを踏まえ、本市においては、市民が抱える生活課題や学習要求を把握しながら、多様な学習機会の提供と学習環境の整備とを充実させることで、すべての市民が生涯にわたって学習を続け、その中に生きる喜びを見だし、豊かな人生を送ることができ、その成果を社会に還元させる生涯学習を推進するために、ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努めます。

本市、第2次新大館市総合計画では、市の将来像を「匠と歴史を伝承し、誇りと宝を力に変えていく『未来創造都市』」と定め、教育・文化面での目標を「まちや暮らしのなかで市民が活躍し、次代を育む『教育文化都市』」と定めています。それに基づいた教育目標である『ふるさとに学び未来を創造できる「人財」の育成』を実現するため、第7次大館市社会教育中期計画では「ふるさとの誇りと未来を育む生涯学

習の推進と支援」を強めていきます。

２．生涯学習推進のための中期的な環境整備施策

生涯学習を推進するため、社会教育関係部局及び関係機関が実施する、中期的な環境整備計画を設定します。

〔１〕生涯学習推進体制の整備

- （１）生涯学習推進機関のネットワーク化
- （２）生涯学習奨励員活動の促進
- （３）出前講座実施に向けた体制の整備
- （４）「まなびピア in おおだて」生涯学習フェスティバルの開催
- （５）「知の循環型社会」実現のための環境整備
- （６）大館版リカレント教育事業の展開
- （７）障害者のための生涯学習の推進
- （８）生涯学習情報の提供

〔２〕社会教育施設の整備と拡充

- （１）学習施設機関の窓口への資料整備
- （２）既存社会教育関連施設の整備状況点検
- （３）木育事業の充実

３．令和４年度生涯学習推進本部の施策と事業

〔１〕生涯学習推進機関のネットワーク化

- （１）ネットワーク会議を通じた推進体制の強化
 - ① 生涯学習推進協議会を通じた関係機関・団体との推進連携強化
 - ② 生涯学習推進本部幹事会における推進体制の整備と強化
 - ③ 学社連携事業の推進

〔２〕生涯学習奨励員活動の促進

- （１）市単独研修会の実施、県及び北鹿地区の研修会等への派遣
- （２）地域内の奨励員活動の充実
- （３）生涯学習奨励員の地域外活動促進

〔３〕生涯学習事業の推進

- （１）生涯学習関連事業の展開
- （２）出前講座メニューの拡大
- （３）市民に対する出前講座の提供及び対応強化
- （４）大館版リカレント教育事業の展開
- （５）木育事業の実施
- （６）障害者のための生涯学習の推進

4. 令和4年度の主な事業内容

[1]「まなびピア in おおだて2022」生涯学習フェスティバルの開催

- ◆期 間 生涯学習強調月間 令和4年9月～10月
メイン開催日 令和4年9月24日（土）・25日（日）
- ◆事業予定 ○中央公民館サークルまつり（サークル作品展）
○木育キャラバン
○大館桂桜高等学校ものづくり体験
○大館地区発明くふう展
○（一財）大館市文教振興事業団協賛事業（ほくしか鹿鳴ホール、栗盛記念図書館）
○市民交流センターまつり ほか

[2]大館市出前講座の開催

- ◆講座メニュー
「自然豊かな「おおだて」を未来にのこそう」「めざせ健康寿命日本一！」「キッズ食育講座」
「WOOD CHANGE！」「忠犬ハチ公の力～渋谷と大館～」「ふるさと歴史講座（遺跡／城下町）」「木育を体験しよう」など65講座

[3]大学公開講座、大学校公開市民講座2022の開催

- ◆大学公開講座 令和4年 9月 秋田看護福祉大学
- ◆大学校公開市民講座2022 令和4年10月 秋田職業能力開発短期大学校

[4]「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催

平成29年度に作成した「大館ふるさとカルタ」を普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作ります。また、カルタ大会の運営に高校生ボランティアを募り、審判・読み手の育成も図ります。

[5]伝統文化親子教室事業の実施

文化庁事業として採択され、平成30年度から引き続き5回目となる今回は、「未来へつなごう 大館市の伝統文化」として11月23日（水）に実施します。

郷土芸能の活動をしている子どもたちの新たな発表の場を創出することにより、活動への意欲を高め、親子で発表会に参加することにより家族間の交流を深めます。また、発表会を通じて後継者不足の解消を図ります。

第3編 学 校 教 育

1. 学校教育の基本方針

(1) 小・中学校教育 推進目標と指導の重点

『ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化』

1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める。

- (1) 大館の未来を切り拓くための総合的人間力（「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」）の育成
- (2) 基本的な生活習慣を身に付け、自律した行動ができる児童生徒の育成
- (3) 基本的な学習習慣の確立と学ぶことの意義の浸透
- (4) 児童生徒一人一人が自己肯定感・有用感をもって生活できる集団づくり
- (5) 運動の習慣化、日常化の確立と充実した食育による健康の保持増進
- (6) いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実
- (7) 全教職員と関係機関のネットワークで支援する特別支援教育の推進
- (8) ESDの視点での価値づけによる、ふるさとキャリア教育の深化

2 地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る。

- (1) ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開
- (2) カリキュラム・マネジメントによる学校運営の改善と積極的な情報発信
- (3) 地域に開かれた教育活動の取組による元気の発信と地域貢献
- (4) R型コミュニティ・スクールの体制構築

3 共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業（響学）を推進する。

- (1) 第0次学力向上に関する提言の実践と「おおだて型学力」育成に向けた授業改善
- (2) 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善
- (3) 幼・保・小・中・高・大連携や学校間交流による実践研究
- (4) 地域の学習材等、教育資源を活用した授業や教育活動の開発
- (5) 教育専門監、授業マイスター等を活用した実践的研修の活性化
- (6) おおだて型授業におけるICT活用スタイルの確立

4 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する。

- (1) 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築
- (2) 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境を整備

(2) 就学前教育 推進目標と指導の重点

『豊かな生活体験を通して、人間的基礎力を育む就学前教育の推進』

1 主体的に環境にかかわり、遊びや生活を通して総合的に発達していく過程を大切にした指導に努める。

- (1) 基本的な生活習慣や態度の形成
- (2) 一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導の充実
- (3) 人と関わる力や思考力、想像力や表現力を育む環境の構成
- (4) 地域との関わりの中で、充実感や達成感が味わえる多様な体験の充実
- (5) 友達と協同する経験や規範意識を身に付けていくクラスづくり
- (6) 運動習慣の形成や食育など健康な生活リズムづくりへの取組

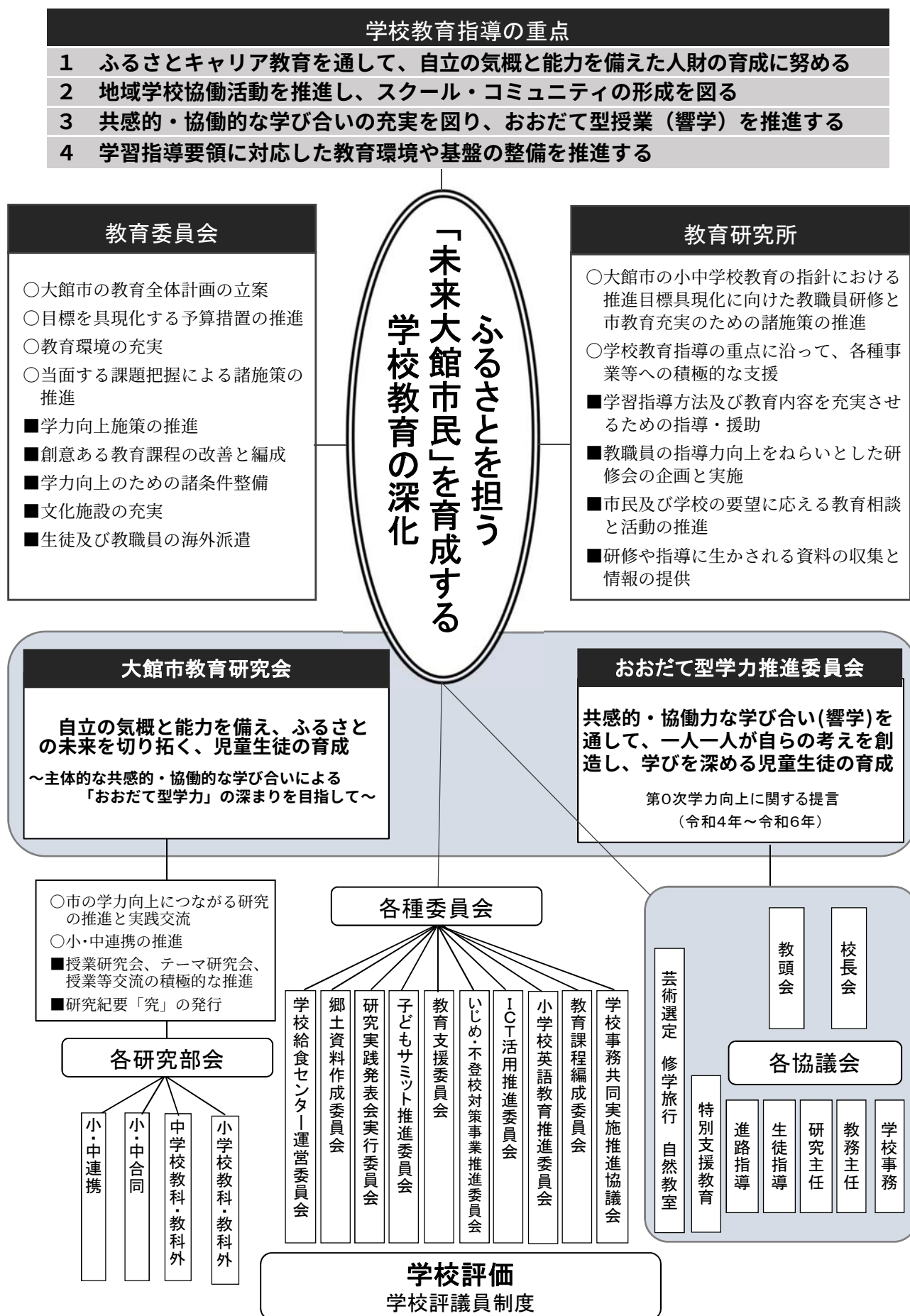
2 地域社会に開かれた信頼される園づくりを推進する。

- (1) 学校評価・外部評価の実施、結果の公表と活用
- (2) 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が示すところから創意工夫ある教育課程の編成・全体的な計画の作成
- (3) 全職員で取り組む特別支援教育の園内体制の確立
- (4) 保護者との信頼関係を基盤にした子育て支援の推進
- (5) 地域や家庭とともに子どもを育てる環境づくり

3 実践的指導力を高める教職員研修を推進する。

- (1) 園内研究体制の確立と自園の研究主題に向けた保育の実践
- (2) 小学校教育との円滑な接続のための連携の推進
- (3) 今日的な課題に対応するための研修の充実

(3) 大館市学校教育推進全体構想



(4) 指導の重点と関連する施策及び事業

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○第0次学力向上施策（提言）の周知、具現化 ＜共通目標＞ 共感的・協働的な学び合い(響学)を通して一人一人が自分の考えを創造し、学びを深める児童生徒の育成 ○子どもハローワークの運営 ○未来人財プロジェクト ○中学生海外研修派遣事業 ○交流事業(岡山県・鳥取県・世田谷区・釧路市・嘉手納町・常陸大宮市・浦河町・南種子町・青森県西北教育事務所) ○学校訪問(算数数学・生活・理科・外国語活動・外国語・生徒指導等・日常授業参観) ○教育委員学校訪問 ○県学習状況調査の分析と改善に向けた対策 ○校務支援システムの活用 ○ICTを活用した授業改善支援事業(R3~6) ○ALT派遣(中) ○小学校外国語活動支援員派遣(小) ○経済教育研修会 | <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒とふれあう時間の確保 ○適応指導おおとり教室事業 ○いじめ・不登校対策事業(子育て相談会・ふれあい楽しみ会) ○県スクールカウンセラー配置事業(全中学校) ○大館市スクールカウンセラー訪問事業 ○教育支援委員会 ○就学教育相談 ○通級指導教室(桂城小・扇田小・一中・東中・比内中) ○特別支援教育地域センター(桂城小) ○幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」 ○教育支援員の配置(小学校45名、中学校6名、おおとり教室1名) ○わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業(県) ○ふるさとキャリア教育作品コンクール ○プロスポーツと連携した夢事業 ○プログラミング教育推進 |
|---|---|

2 地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る。

- 百花繚乱作戦
- ふるさとキャリア教育夢事業
- ふるさとキャリア教育ステップアップ事業
- 学校評価の推進
- R型コミュニティ・スクールの推進
- 学校評議員制度
- 子どもサミット活動
 - ・ペットボトルキャップ回収
 - ・こでん回収
 - ・もっとつながるあいさつ運動
 - ・釜石児童生徒会「かまいし絆会議」との交流
- キャリア教育コーディネーターの活用
- スクールガード・リーダー巡回指導
- 地域学校協働本部事業
- 地域防災活動
- 指導主事はちくんの派遣
- 登下校防犯プラン推進会議
- 子ども110番の家



3 共感的・協働的な学び合いの充実を図り、おおだて型授業(響学)を推進する。

- おおだて型学力推進委員会
- 全国学力・学習状況調査、県学習状況調査の分析と改善に向けた支援
- ICT活用推進委員会
- 大館市教育研究会(小中合同部会)
- 教職員研究実践発表会
- 夏季研修会・ICT活用研修講座
- 授業力向上支援研修
- 初任者研修
- 講師研修会
- 市内諸施設及び企業等見学会及び研修会(兼大館市初任者研修)
- 小学校英語教育推進委員会
- 小学校英語教育推進アドバイザーの配置
- 小学校外国語活動支援員研修会
- 授業マイスター・チャレンジ授業賞・ふるさと授業賞
- おおだて型教育発信事業
- 他県との教員の交流、他県から視察の受入

２．幼稚園の概要

【私立幼稚園】

(R4.5.1現在)

幼稚園名	園児数				教職員数	教育目標
	3歳	4歳	5歳	計		
大館幼稚園	6	9	6	21	5	・キリスト教の精神に基づいて一人ひとりの個性を保育集団の中において創造的に伸ばす ・愛することを学び努力し 豊かな人を育てる
合 計	6	9	6	21	5	
大館ホテヤ幼稚園	※ 子ども・子育て支援新制度への移行により幼稚園を廃止。					【認定こども園】 大館ホテヤこども園 大館ホテヤ第二こども園
大館八幡幼稚園						【認定こども園】 大館八幡こども園
大館神明幼稚園						【認定こども園】 宮の杜神明こども園
向陽幼稚園						【認定こども園】 向陽こども園
大館南が丘幼稚園						【認定こども園】 南が丘こども園
大館カトリック幼稚園						【認定こども園】 大館カトリックこども園
扇田幼稚園						【認定こども園】 扇田こども園

3. 学校の概要 (R4.5.1現在)

(1) 児童生徒数・学級数

①小学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	22	20	21	20	21	21	30	155
児童数	393	400	415	447	472	475		2,602

※1学年の学級数には1・2学年の複式学級1学級を含む。

※2学年の学級数には2・3学年の複式学級2学級を含む。

※3学年の学級数には3・4学年の複式学級1学級を含む。

②中学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	18	19	17	15	69
生徒数	455	497	487		1,439

(2) 教職員数

校種別	教 職 員								市職員（臨時含む）						合 計
	校 長	教 頭	教 諭	講 師	養 護 教 諭	栄 養 職 員	事 務 職 員	小 計	校 務 主 事	栄 養 職 員	調 理 技 師	教 育 支 援 員	そ の 他 職 員	小 計	
小学校	17	17	177	15	18	4	18	266	36	2	10	45	10	103	369
中学校	8	8	110	14	9	3	10	162	18	0	0	6	8	32	194
合計	25	25	287	29	27	7	28	428	54	2	10	51	18	135	563

(3) 病院学級

校種別	児童・生徒数	教員数
小学校	0	0
中学校	1	1
合計	1	1

(4) 通級教室

校種別	学級数	児童・ 生徒数	教員数
小学校	3	54	3
中学校	1	14	1
合計	4	68	4

4 学校施設等の概要

(1) 小学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
桂 城 小	庄司 保雄	桂城（かつらじょう）の名を受け継ぐ本校の桂城未来科新テーマは「つなげよう わが町 桂城 城下町」～自覚と誇りをもち行動する桂城っ子～。城下町を中心に学び、地域貢献活動に取り組み、桂城っ子の笑顔と元気を発信します。桂城っ子は、全員の手が挙がる「チャレンジタイム」と、考えを広げ深める「チェンジタイム」で、共感的・協働的な学び合いを目指します。創立150周年に向けて、歴史と伝統に自信と誇りをもって、学校教育目標である「未来を拓く、心豊かで自立した子どもの育成」に取り組みます。
城 南 小	福司 登志子	今年の合言葉は「Nice Tryでつながる・高まる!」。元気で明るい挨拶と、児童が主体的に課題解決に向かう「シンカタイム」を組み込んだ学習に取り組んでいます。また、県の「ICTを活用した授業改善支援事業」推進校として、ICT活用の研究も進めています。学区の特性を生かし、様々な職種の大人の「本気」に触れ、関わる活動を通して、ふるさとを大切に思い、自分のよさを発揮して、共によりよく生きていく資質を培っていきます。毎年大好評、6年生手作りの「ふるさとCM」にもご期待ください。
城 西 小	花田 一雅	県内初のコミュニティ・スクールに指定されて16年目。「チーム城西 ともに光りがやぐ」の学校教育目標のもと、もあハッピー大作戦 第2章「みんなと幸せを分かち合うために」に取り組んでいます。自分たちの幸せは誰かのおかげであるという感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」を合言葉として、学校・家庭・地域に幸せをお裾分けする活動に取り組んでいます。また、「弥栄プロジェクト」を中核に大館ふるさとキャリア教育を推進し、チーム城西で地域に更なる元気を届けるスクール・コミュニティづくりに邁進します。
有 浦 小	野呂 謙一	目指す児童像である「大館を愛し、次代を担う、“気づき、考え、行動できる”子どもの育成」のもと、物事を「自分ごと」として捉える「有浦プライド」を御旗として、「そうぞう力（想像力・創造力）」「共感力」「コミュニケーション力」「レジリエンス」の4つの資質・能力の育成を重点に据えて教育活動を展開します。
釈 迦 内 小	佐藤 潔	子どもたちが自ら考案したキャラクター「向陽戦隊さくらンジャー」となり、桜三心「美しい心・挑戦の心・前向きな心」、向陽三行「創る、かかわる、やり遂げる」を胸にがんばっています。また、看板事業の釈迦内サンフラワープロジェクトは、「2022 REBORN ALL FOR UKRALINE」として地域住民と児童の努力の結晶を「ウクライナ避難住民救済のために」をコンセプトに済生・再生します。
長 木 小	貝森 逸子	大空に響く「鳳凰太鼓」のように、生き生きとたくましく伸びゆく長木っ子。学区に生育するエゾタンポポを守る活動を継続しながら、「命輝け!エゾタンポポプロジェクト」に取り組んでいます。エゾタンポポのように命いっぱい輝く地域の「ひと・もの・こと」と関わりながら、互いの命を輝かせる大切さを学ぶとともに、誇りをもって自分の未来・地域の未来を考えることができる子どもの育成を目指しています。
川 口 小	安部 芳範	半径200m程の円内に保育所、小学校、中学校、公民館、デイサービスセンター、駐在所が取り、駅、バス停も目の前。抜群の立地条件を生かし、地域貢献・交流活動「プロジェクトK」によって、全校児童が地域に元気と笑顔を発信しています。小林多喜二や重右衛門堰、川口獅子踊り等の歴史をひもときながら、ネギの栽培・販売やマスキース・エコバッグの制作・販売に取り組む姿はまさに未来大館市民そのもの。今年度はリサイクルステーション「リサイくるりん」を活用して、家庭・地域とともにSDGsの学びを深めます。「あべ! (Let's Go) 川口小」
上 川 沿 小	奥村 昌樹	秋田杉のぬくもりに包まれた校舎で、本校のシンボルツリーであるニュートンの木をモチーフにしたイメージキャラクター「ハートさん」「カッシーさん」「ニュートンさん」を目指し、学習やスポーツに励んでいます。また、学区に位置する果樹園や校地のそばにある学校田では、子どもたちの夢や希望を育む活動「とびっきりの上川沿」を展開しています。保護者や地域の方々とともに「明るくあいさつのあふれる学校」「一人一人が大切にされる学校」「地域とともにある学校」づくりに取り組んでいます。
成 章 小	一関 光	成章書院の歴史と伝統を受け継ぐ成章っ子は「チャレンジ!プラス1」を合言葉に、日々の学習や活動に励んでいます。意見をつなぎみんなで課題を解決する学習、枝豆栽培を核とした地域と積極的にかかわる「成章かがやきプロジェクト」、さらに地域の病院や施設に届ける「元気応援ボード」の作成、小・中学校合同ボランティア。「学び」「心」「行動」をつなぎ、高め、広げていく成章っ子は、今年度も笑顔と元気を地域に届けます。

(R4.5.1現在)

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
233	13	43	38,589.54	6,844.70	M 7 .4.24	大館市水門町1-12 0186-42-2262
332	14	39	14,675.01	7,122.64	M 7 .4.24	大館市字桜町9 0186-42-3025
254	13	31	21,509.00	6,379.07	(統合) S 33. 9.30	大館市城西町8-1 0186-42-3238
480	20	45	28,870.00	6,927.47	S 17. 6.15	大館市有浦四丁目6-55 0186-42-2834
193	8	24	29,397.11	7,345.10	M 7. 6.26	大館市釈迦内字相染台24 0186-48-2934
144	8	22	23,711.40	4,692.04	M 10. 1.15	大館市上代野字八幡岱45 0186-48-5158
80	9	17	18,717.00	5,128.80	M 7.10.21	大館市川口字隼人岱108-68 0186-42-9762
134	8	21	28,574.63	4,614.04	M 12.11. 2	大館市餌釣字前田75 0186-49-6155
72	8	18	30,660.33	5,568.56	M 7. 5.27	大館市十二所字大平190 0186-52-2818

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
花 岡 小	浅野 直子	「勇気・つながり・チャレンジ～一人一人が輝く星!!!～」を児童会テーマとし、ふるさとキャリア教育を中心に課題対応能力の育成に努めています。児童が自ら課題を見付けて解決していく大きな活動「花岡チャレンジ活動」＝「花岡シャイニングストリート」「花岡チアアップウォーク」「花岡ドキワク夏祭り」「チャレンジよさこいソーラン」の他にも、「運動会」「学習発表会」等の学校行事にも児童たちが自分たちで取り組み、動かしていくというように活動の幅を広げています。さらに、自ら課題を解決し、まとめているというチャレンジ授業にも取り組んでいます。
矢 立 小	藤嶋 俊英	校名の由来となった矢立杉林のように「大地にしっかりと根を張り合い、それぞれが大空に向かってたくましく伸びる子ども」の育成を目指しています。矢立峠にこんこんと湧き出る温泉のように温かい地域の方々に支えられながら、矢立のよさを進んで見つけ、広く発信しながら、たくましく成長する矢立っ子たち。隣接する保育所、北陽中学区内の小・中学校、そして碓ヶ関小学校等との交流にも積極的に取り組んでいます。
南 小	神原 亮	豊かな自然、歴史や文化財などの恵まれた教育環境を生かし、「いいね みなみっ子！ チームみなみでチャレンジ！」を合言葉に、ふるさとや仲間と関わりながら、夢や目標に向かって努力する子どもの育成を目指しています。「さつまいも夢プロジェクト」を通して、秋田市大森山動物園と交流するとともに、収穫したさつまいもを地域の福祉施設に届けるなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。
扇 田 小	川崎 郁子	毎朝児童が打ち鳴らす「思いやりの鐘」の音は、地域にも響きわたり、「笑顔いっぱい 夢いっぱい 元気いっぱいの扇田っ子」の活動の始まりを伝えています。「笑顔と幸せを届けよう」を合言葉に、「地域と共に地域を創る扇田小ふるさとキャリア教育」を核とした教育活動を展開しています。「扇田元気プロジェクト」や、「つきの木タイム」による学び合い等を通して、学教教育目標「届けよう笑顔と幸せ ～未来の扇田を 支え続ける子どもの育成～」の実現を目指します。
西 館 小	佐藤 勇一	「ふるさとと共にかがやき、よりよく生きる子どもの育成」を教育目標に掲げ、全ての学びの中でつながり・かかわり・挑戦を大切に、明るくあいさつや元気な声がオープンシステムスクールいっぱいに響き渡る学校づくりに取り組んでいます。「西館ふるさと科」を核にした地域、保育園、特別支援学校等との多様な交流活動を展開し、子どもと地域が共にかがやき、ふるさとが大好きと思える、自分の思いを表現できる子どもの育成を目指します。
東 館 小	山口 誉	とんぶり・比内地鶏・十和田石など全国区となる特産物、450年あまり前の浅利氏の残した史跡・文化等は東館小の大きな強み。旧三岳小と旧大葛小の伝統を融合させながら、未来大館市民を育成するべくふるさとキャリア教育の活動に取り組んでいます。学校教育目標に～創立150年につなぐ、「東館笑輝」～の言葉を加え、これまで以上に地域とつながる学校づくりを目指し、多くの人に笑顔と希望を届けます。
早 口 小	北林 孝男	羽州街道に門を置く学校として開校147周年を迎える本校は、今年度も「早口川の徒渡り」「はつらつ元気農園」など、いつも応援してくださる地域に元気と笑顔を届ける活動に取り組みます。徒渡りは今年で30周年なので、例年以上に張り切っています。そして、2年目を迎えた児童4チームによる「はつらつチームプロジェクト」を通して自己有用感を高め、学校教育目標「未来を見つめ はつらつと学び 共に輝く 子どもの育成」を目指します。
山 瀬 小	松下 健	「夢をもち、やさしく、まじめに、せいっぱいがんばる子ども～」を目標に掲げ、地域の「ひと・もの・こと」と豊かにかかわりながらふるさとに学び、未来を拓く児童を育てる教育活動に取り組んでいます。今年度は、創立60周年を迎え、学校や地域の歴史等の探究学習や「たけのこ和紙作り」を核とした学校・家庭・地域が一体となったふるさとキャリア教育を力強く押し進め充実を図り、「たけのこの里でぐんぐん伸びるたけのこ子」を目指します。
合 計		

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
52	6	15	13,893.00	5,788.35	M 7.10. 7	大館市花岡町字根井下22 0186-46-1615
26	4	16	13,338.00	3,773.64	M 7.12.24	大館市白沢字白沢1149 0186-46-3012
101	8	17	22,574.63	4,923.44	(統合) S 51. 4. 1	大館市下川原字向野6 0186-49-5518
168	9	25	12,847.00	5,782.11	M 7.11. 5	大館市比内町扇田字白砂131 0186-55-0043
79	8	19	23,540.53	5,593.00	M 7.11.18	大館市比内町笹館字前田野77 0186-55-0324
58	5	14	23,026.00	3,384.65	M 7.10.25	大館市比内町独鈷字独鈷90-1 0186-56-2112
80	7	16	18,291.00	4,046.30	M 8.10. 5	大館市長坂字坂地岱12 0186-54-3033
116	7	18	18,864.00	3,801.04	(統合) S 37. 4. 1	大館市岩瀬字上軽石野39-18 0186-54-3036
2,602	155	400				

(2) 中学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
第 一 中	武田 俊一	校訓「英知」「友愛」「忍耐」のもと、教育目標「より深く考え 自己を磨き 未来をたくましく生きる生徒の育成」を具現化するため、『揺ぎ無い存在感の基盤となる、「共感」「規律」を備えた協働力の育成～共に論じ合い深め合う学びの実現を通して～』を教育実践重点テーマに掲げました。今年度は「この仲間 このチームに誇りを」を生徒・職員共に合言葉とし、「学級」「学年」「生徒会」「部活動」など、どの集団であっても、そこに集う一人一人の「仲間」を大切に、「仲間とともに」「共感」「仲間のために」「規律」を備えた協働力を発揮して、様々なことに挑戦していきます。
北 陽 中	伊多波 卓美	教育目標「心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」のもと、開校8年目の今年は“ゆるぎない学校づくり”を目指す“成長期”の2年次に当たります。培ってきた「共感」「規律」を基にして、本校の授業づくりの核「学美」を全教育活動へと広げ「自己決定力」の育成を目指します。特に、防災活動をはじめとする地域連携活動を通して磨き上げる“振舞い”を、正解のない世の中でもたくましく生き抜いていく自己決定力へとつなげ「未来大館市民」を育てます。それが「北の大地を照らす学校」としてのゆるぎない学校「北陽中」の使命です。
下 川 沿 中	山崎 悟	校訓に3つの「りつ」を当てはめて重点としました。すなわち、「英気」には自主性を重んじる「立」を。「叡知」にはふるさとをひきいる「率」を。「純情」には自己の言動に責任をもつ「律」を組み合わせました。また、ふるさとを「率いる」気持ちをさらに高めるべく、生徒会による「(株)下川沿中学校構想」もスタートしました。生徒が地域を活性化するための会社を立ち上げて、アイディアを出し合いながらボランティア活動を行います。
南 中	御船 美喜雄	校地内の「南中の森」に象徴される緑豊かな環境に囲まれた学校です。本校では、生徒が将来の進路と日々の教育活動の意義とを結びつけ、自分と社会をつなぎながら「なりたい自分」を求め、力強く未来を拓いていく力を身に付けさせる教育を推進していきます。学校教育目標「なりたい自分を求め、自ら考え判断し、行動する生徒の育成」を実現させるためのキーワードは「自律」と「共生」です。校訓にあるように、生徒が「すなおに・ただしく・はつらつと・たくましく」成長することを目指し、職員と生徒が「協働・共創」の精神で取り組んでいます。
成 章 中	田山 律子	旧藩政時代の郷校成章書院の精神と伝統を受け継ぐ学校です。地域の福祉施設との交流活動や高齢者宅への花寄贈等のボランティア活動をはじめとした地域との連携・協働活動の中核に、「成章スピリッツ～向学の志気と気風を高め、未来を見つめる～」を合言葉として、「ふるさとを担う気概にあふれ、未来を切り拓き、たくましく生き抜く生徒の育成」を目指します。
東 中	駒木 聖子	校訓「立志」・「友愛」・「剛健」のもと、将来高い志をもってふるさとを支えることのできる人材の育成に努めています。学校経営キーワードは「鳳凰チャレンジ!～自律・共生～」です。学校を公（社会を形成する）・私（なりたい自分を追求する）のための土台づくりの場とし、「鳳凰タイム」を軸に、共感的・協働的に学び合う力を大切にしています。ふるさとと共にある学校を目指し、東中三大自慢「あいさつ・歌声・東中太鼓」を通して、地域に元気を届けます。
比 内 中	渡部 鋼喜	教育目標「ふるさとに根ざし、明るくたくましく生きる生徒の育成」のもと、「ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を身に付ける学びプロジェクト」「ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる心と体プロジェクト」「ふるさとに生き、自らを変えていく力を付ける生き方プロジェクト」を推進しています。「あい」を大事にした「かわり」を学校経営の理念として、今年度は、土台〔(あしば)あいさつ、時間、場に応じた行動〕をしっかりと固めるように取り組んでいます。また、新たに「とんぼりSDGs」にもチャレンジします。
田 代 中	田中 覚	教育目標「ふるさとに誇りをもち、今と未来を幸せに生き抜く生徒の育成」のもと、未来につながる三つの架け橋として、「未来につながる確かな学力の育成」「未来につながる豊かな人間性と社会性の育成」「ふるさとへの誇りや自立の気概を育み、未来につながるふるさとキャリア教育の充実」を掲げて日々の実践に取り組んでいます。人間的基礎力を育成するJAKS運動、伝統の「田っ中ソーラン」をはじめとした生徒の主体的な活動、そして地域ボランティア等の地域貢献活動を通して、一体感と活気あふれる学校を目指しています。
合 計		

(R4.5.1現在)

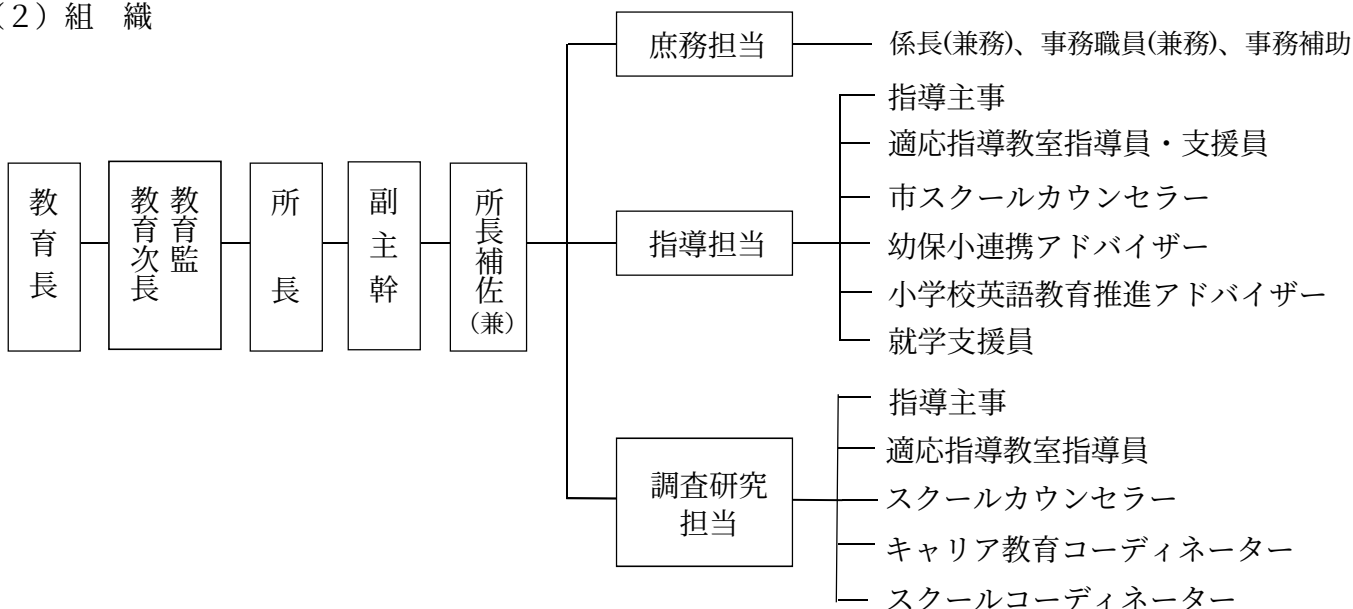
生徒数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
487	20	56	36,219.68	11,592.49	S 22. 5. 1	大館市北神明町10-1 0186-42-4177
144	8	22	23,934.00	5,562.65	H 27. 4. 1	大館市釈迦内字長者森1 0186-48-2935
55	4	17	26,593.00	3,947.20	S 22. 5. 1	大館市川口字隼人岱108-69 0186-42-9761
60	4	17	48,659.00	4,115.23	(統合) S 40. 4. 1	大館市二井田字小石台20 0186-49-5516
42	4	17	26,931.00	3,926.26	S 22. 4. 1	大館市猿間字中谷地10 0186-52-3022
360	15	46	38,869.69	7,994.29	(統合) S 45. 4. 1	大館市有浦五丁目2-8 0186-42-2835
171	9	23	58,744.00	7,936.00	(統合) S 45. 5. 1	大館市比内町扇田字新館野中岱12 0186-55-1505
120	5	16	69,893.00	7,027.80	(統合) S 43. 4. 1	大館市岩瀬字下軽石野2-2 0186-54-3042
1,439	69	214				

5. 教育研究所

(1) 所在地

大館市早口字上野43番地1 TEL (0186) 43-7114
 FAX (0186) 54-6100
 E-mail kyokenkyu@city.odate.lg.jp

(2) 組織



(3) 所員 20名

所長 1名 副主幹 1名 所長補佐(兼務) 1名 学事係長(兼務) 1名 指導主事 1名
 事務職員(兼務) 4名 適応指導教室指導員 2名 適応指導教室支援員 1名
 市スクールカウンセラー 2名 幼保小連携アドバイザー 1名
 就学支援員 1名 キャリア教育コーディネーター 1名
 小学校英語教育推進アドバイザー 1名 事務及びキャリア教育補助 1名
 スクールコーディネーター 1名

(4) 事業

① 指導・援助

- ・学校訪問による指導と援助
- ・教育諸調査の実施と分析、活用
- ・小学校英語教育の推進
- ・外国語指導助手、外国語活動支援員の活用
- ・市教育研究会への援助と協力
- ・新学習指導要領、教育課程の実施に向けた指導と援助
- ・幼保小中高大連携の推進
- ・ふるさとキャリア教育の推進
- ・ICT活用の指導と援助

② 教職員研修

- ・夏季研修会・I C T活用研修講座
- ・教職員研究実践発表会
- ・初任者研修・市内諸施設及び企業等見学会
- ・講師研修会
- ・授業力向上支援検収
- ・小学校外国語活動・外国語研修会



市内施設・企業見学会
(ニプロハチ公ドームにて)



授業力向上支援研修
授業マイスター等の授業実践から学ぶ

③ 教育相談

- ・相談活動（子育て相談会、来所相談、電話相談、学校訪問）
- ・いじめ・不登校児童生徒の実態把握と指導援助
- ・学校及び関係諸機関との連携による指導援助
- ・幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」による指導援助
- ・スクールカウンセラーの派遣

④ 教育研究資料の収集及び情報提供

- ・所報「教育おおだて」
- ・諸研究会、研修会の情報提供
- ・先進的研究及び実践の紹介

⑤ 子どもハローワークの運営

- ・きりたんぽまつり等への参加

⑥ 子どもサミットの運営

- ・ペットボトルキャップ回収
- ・こでん回収
- ・SDG s ポスター作り
- ・もっとつながるあいさつ運動
- ・釜石児童生徒会「かまいし絆会議」との交流

(5) 主な事業から

【大館市子どもサミット】

代表会議での活発な意見交換



ZOOM を用いた岩手県釜石市とのオンライン交流会

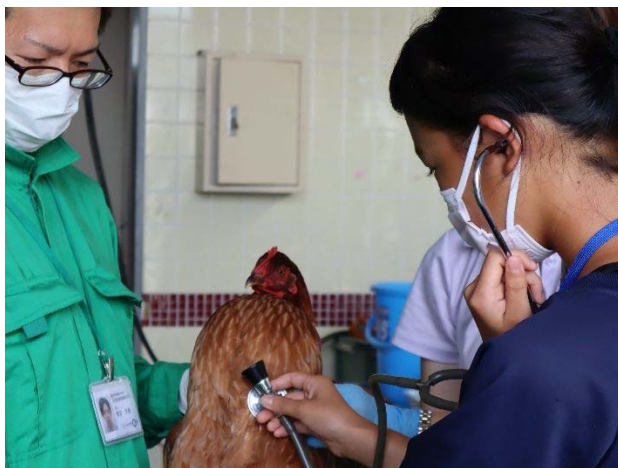


【子どもハローワーク】

消防士体験（大館市消防本部）



畜産獣医師体験（北部家畜保健衛生所）



6. 教育研究会

(1) 共通主題

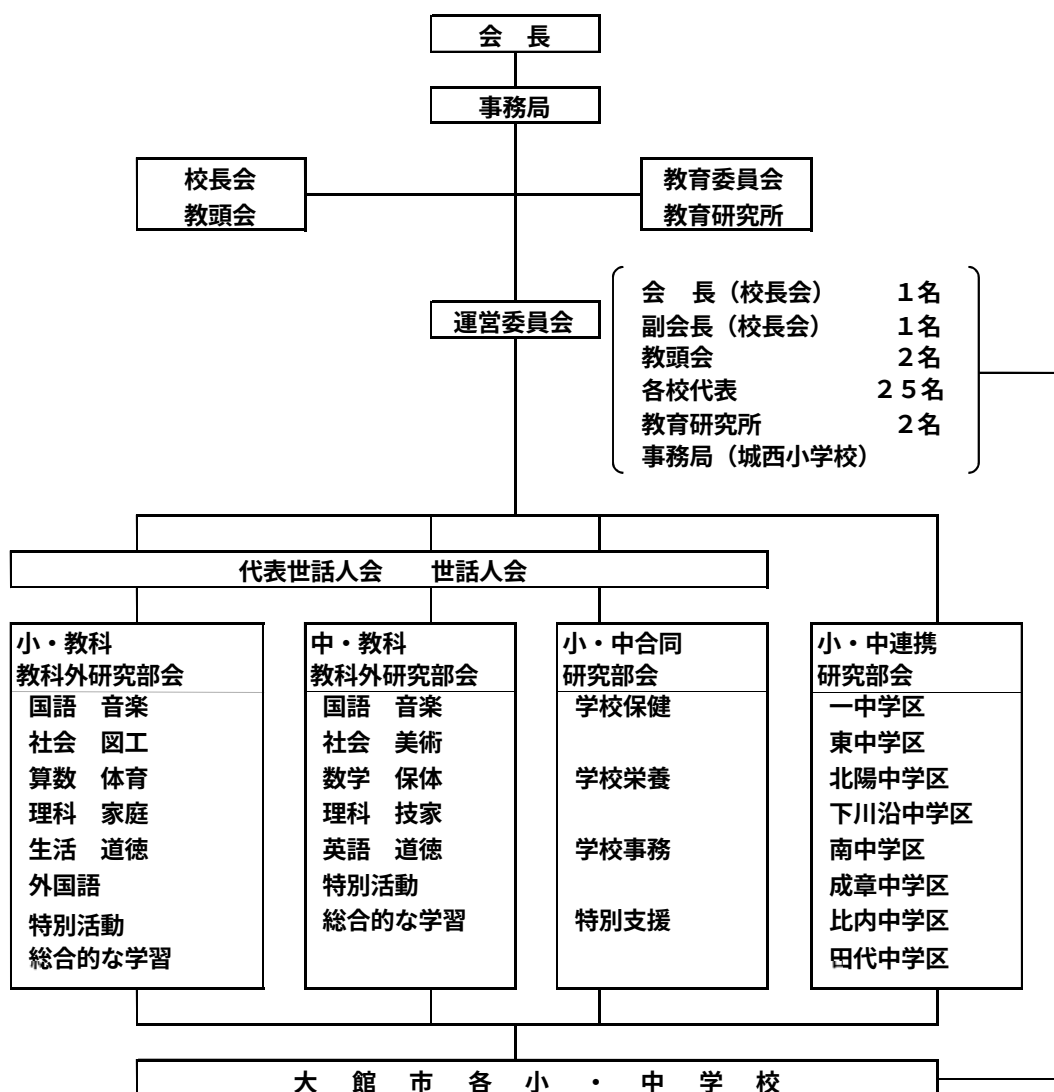
「自立の気概と能力を備え、ふるさとの未来を切り拓く、児童生徒の育成」

～主体的で共感的・協働的な学び合いによる『おおだて型学力』の深まりを目指して～

(2) 目的

この会は、各校の特色を生かしながら大館市の教育の共通課題に対して計画的研修・実践活動を行い、教職員の資質を高めるとともに、関係教育機関と協力して大館市の教育の充実発展を図ることを目的とする。

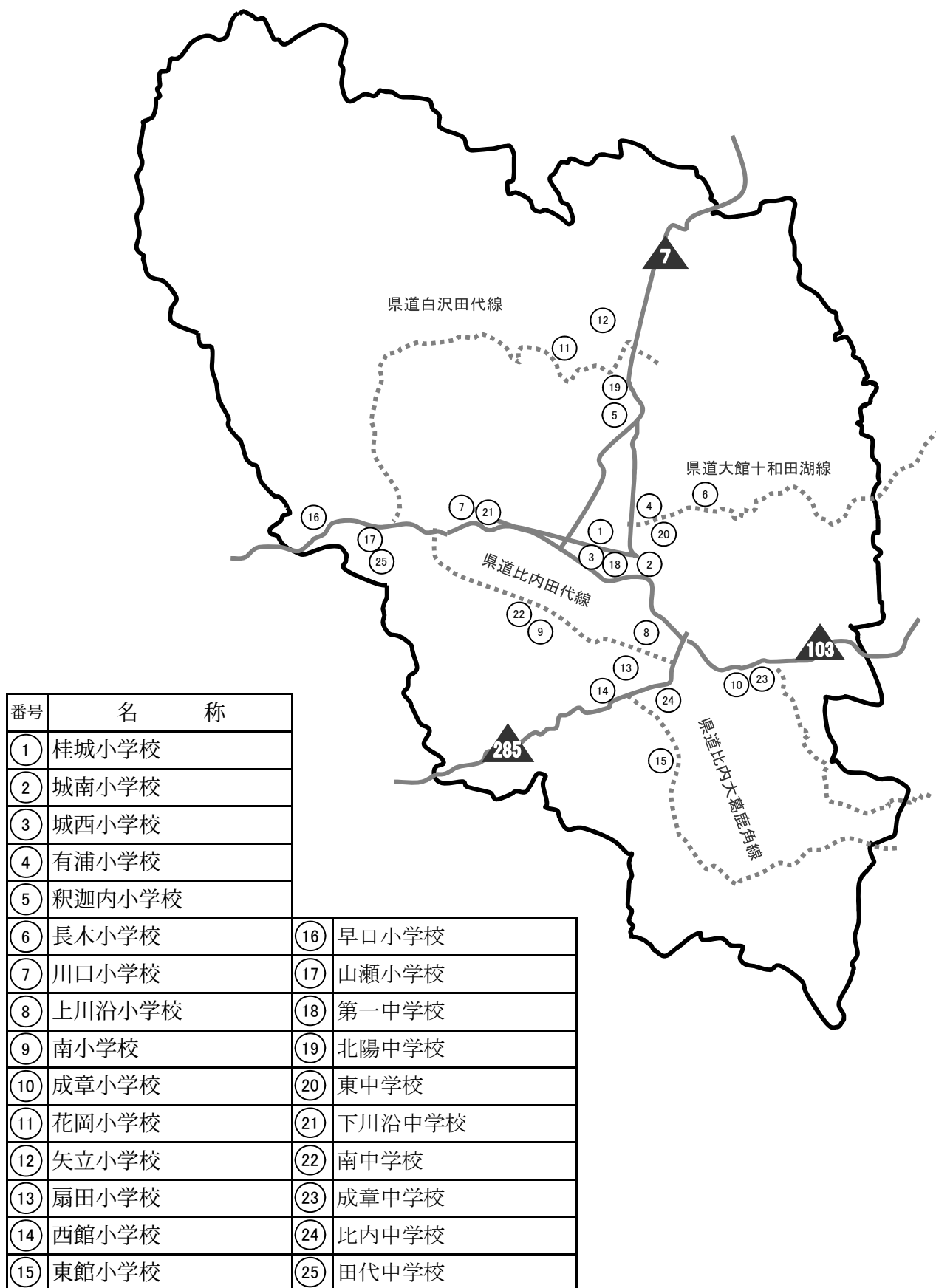
(3) 運営機構



(4) 今年度の事業計画

- 4月14日 第1回総合研究会 (13:40～文化会館・中央公民館等)
- 5月11日 第1回運営委員会 (城西小学校)
- 5月11日 第1回研究紀要編集委員会
- 10月20日 小学校第2回総合研究会 (午後)
- 10月21日 中学校第2回総合研究会 (午後)
- 11月 9日 第2回総合研究会 (午後)
特別の教科：道徳 教科外：特別活動
- 11月10日 合同：特別支援、学校事務、学校栄養、学校保健
- 12月27日 第2回研究紀要編集委員会 (午後 城西小学校)
- 2月 2日 第2回運営委員会 (午後 城西小学校)
- 3月 研究紀要「究」発行

7. 大館市立小学校・中学校所在地



第4編 保健・給食

1. 学校保健

(1) 目 標

「自分のからだを知って、心もからだも健康な生活を送れるようにする」ことを目標に、各種の健康診断を実施し、活用しています。当面の課題として、学校保健委員会を有効に機能する方策について、各校とも工夫しているところです。

(2) 事 業

内科検診 歯科検診 眼科検診 尿検査 脊柱・運動器検診
耳鼻科検診 (小学校1・5学年、中学校1学年)
貧血検査 (小学校5学年、中学校2学年)
脊柱側弯検査 (小学校5学年)
心電図検査 (小学校1・4学年、中学校1学年)

(3) 小・中学生の体格

(単位：身長cm、体重kg)

(R3年度)

性別	項目	区分	小 学 校						中 学 校		
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	1学年	2学年	3学年
男 子	身長	大館	117.0	123.5	129.2	135.3	139.9	147.0	154.3	161.8	167.0
		県	117.7	123.7	129.7	134.9	140.4	147.2	155.1	162.1	166.9
		全国	117.5	123.5	129.1	134.5	140.1	146.6	154.3	161.4	166.1
	体重	大館	22.2	25.3	28.4	32.7	35.3	41.9	46.9	52.9	56.6
		県	22.4	25.5	29.0	33.0	37.1	41.4	47.2	52.9	56.9
		全国	22.0	24.9	28.4	32.0	35.9	40.4	45.8	50.9	55.2
女 子	身長	大館	116.5	122.3	128.9	134.9	141.8	148.0	153.1	155.7	156.9
		県	117.0	123.0	128.3	134.7	142.2	148.8	152.9	155.7	157.1
		全国	116.7	122.6	128.5	134.8	141.5	148.0	152.6	155.2	156.7
	体重	大館	21.3	24.7	28.3	31.7	36.8	40.9	45.9	50.0	51.9
		県	21.9	24.7	27.9	31.4	36.2	42.0	45.2	49.0	51.2
		全国	21.5	24.3	27.4	31.1	35.4	40.3	44.5	47.9	50.2

2. 学校給食

(1) 目 標

成長期にある児童生徒の健康の保持増進と、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して、好ましい人間関係を育成する。

(2) 概 要

小・中学校合わせて25校全校で完全実施されています。

学校給食においては、郷土料理や地場産物を活用した献立や、健康づくりに配慮した献立を実施し、食育に取り組んでいます。また、各校においては、行事食やバイキング給食などを実施し特色ある楽しい給食を目指しています。

(3) 学校給食実施状況

<完全給食>

(R4.5.1現在)

施 設 名	開 設 年月日	食 数	一週間の 実施回数	対 象 校	施 設 面 積
桂城小学校	S42. 5. 2	274	5日(米飯 3回)	桂城小	142.50m ²
城南小学校	S49. 1.22	372	5日(米飯 3回)	城南小	260.00m ²
城西地区 学校給食センター	H14. 4. 1	813	5日(米飯 4回)	城西小、一中	519.00m ²
西地区 学校給食センター	H 9. 4. 1	358	5日(米飯 4回)	川口小、南小、下川沿中、 南中	458.89m ²
成章 学校給食センター	H 7. 4. 1	295	5日(米飯 4回)	成章小、上川沿小、成章中	399.09m ²
比内 学校給食センター	H16. 4. 1	545	5日(米飯 4回)	扇田小、西館小、東館小、 比内中	954.35m ²
田代 学校給食センター	S56. 4. 1	362	5日(米飯 4回)	早口小、山瀬小、田代中	658.28m ²
北地区 学校給食センター	H20. 4. 1	1,556	5日(米飯 3回)	有浦小、釈迦内小、長木 小、花岡小、矢立小、北陽 中、東中	1,371.87m ²
計	8施設	4,575		小学校 17校 中学校 8校	

第5編 社会教育

第7次大館市社会教育中期計画策定構想

大館市の生涯学習基本理念

～ふるさとを愛し、生きがいをもって学びつづける人づくり～

○元気なひと ○元気な地域 ○元気な未来

第2次新大館市総合計画将来像

大館の未来を紡ぐ
ものがたりづくり

まちや暮らしのなかで
市民が活躍し、次代を育む
“教育文化都市”

健康で、互いのつながりを
大切に支え合う
“健康福祉都市”

地域の特性を活かし、
暮らしを支える活力を興す
“産業創造都市”

暮らしやまちのなかに
賑わいと交流を生む
“多文化交流都市”

豊かな自然とともに
快適に暮らせる
“環境共生都市”

持続可能な
まちづくりを支える
“行財政運営”

匠と歴史を伝承し、誇りと
宝を力に変えていく
「未来創造都市」

第7次大館市社会教育中期計画（令和2年度～令和5年度）

目標 ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習社会

めざす
まちのすがた

ふるさと
に誇りを
もち共に
学び合い
ができる
まち

自分をま
ちづくりに
生かす、つな
がりをつ
くることが
できる
まち

郷土の誇
りを守り
伝えるま
ち

誰もがど
こでも生
涯を通じ
て共に学
び合うま
ち

わたしたちの目標

- 自分を高めるために積極的に学習に参加します。
- 世代を超えて地域の人との触れ合いを深めます。
- 生涯学習ボランティアに参加します。
- 地域ぐるみで次代を担う子どもを育てます。
- 学校と地域の双方向の連携・協働関係を築きます。
- 読書に親しみ、読書を通じた学習活動に参加します。

- 知識や技術、経験、自分の特技などを積極的に学校や地域のために生かします。
- 地域の行事や公民館事業に積極的に参加します。

- 大館の歴史や文化を学び、伝えます。
- 芸術文化の拠点である文化会館（ほくしか鹿鳴ホール）・郷土博物館を活用します。

- 障害のあるなしに関わらず共に学びます。
- 性別・年齢・国籍にとらわれず共に学びます。
- 生涯を通じて学びます。

市の取り組み

- 生涯各期の課題に対応した生涯学習を充実させます。
- 知識や経験、学びの成果をふるさとキャリア教育やまちづくりに生かす場を広げます。
- 学校を核とし地域社会をつなぎ、地域ぐるみの子育てへの取り組みを充実させます。
- 読書活動を充実させます。
- 世代をこえて生涯学習を進める組織や機能を充実させます。

- ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努めます。
- 地域のコミュニティづくりの拠点として、公民館活動を充実させます。

- 公民館・学校等の連携による郷土学習や郷土芸能継承活動の充実を図ります。
- 芸術文化事業を推進します。
- 郷土資料の保存と活用を図ります。

- 障害者のための生涯学習事業を充実させます。
- 多様性のある社会に対応した学習の機会を設けます。

第7次大館市社会教育中期計画の目標が達成されるために

- 単年度における重点施策・主要施策を設定し、担当及び機関が連携しながら、市民、行政、それぞれの立場で推進し、進捗状況を分析し、評価をする。

令和4年度 大館市社会教育推進計画

1. 大館市における社会教育の基本方針

21世紀に入ってからすでに20年が経過し、経済のグローバル化と情報技術革新はさらにスピードを増して進行しており、より複雑化・多様化した社会になっている。

また、雇用や働き方改革の問題に加え、少子高齢・人口減少社会への対応もあいまって、先行きを見通すことが難しい時代になっており、「知の循環型社会」を構築し、いかに維持していくかが大きな課題となっている。

本市では、第2次新大館市総合計画や生涯学習の基本理念を踏まえ、令和元年度には今後4年間の社会教育・生涯学習の指針となる第7次大館市社会教育中期計画を策定した。その中でわたしたちの目標と市の取り組みを明確にし、市民と行政が共に豊かな生涯学習社会の実現を目指すことができるようにした。

この新たな社会教育中期計画では、中心目標を『ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習社会』とし、「めざすまちのすがた」として、①ふるさとに誇りをもち共に学び合えるまち、②自分をまちづくりに生かし、つながりをつくることができるまち、③郷土の誇りを守り伝えるまち、④誰もがどこでも生涯を通じて共に学び合うまちを4つの柱と定め、ふるさとキャリア教育の理念を社会教育にも取り入れたものとした。これを達成するため、単年度における重点施策を設定し、担当及び関係機関が連携しながら、市民と行政がそれぞれの立場で推進し、進捗状況を分析し評価をする。

2. 令和4年度大館市社会教育推進の重要施策

基本目標：ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援

重点施策

(1) ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める

- ①達人講座の実施 ②人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用 ③「大館市出前講座」の充実と活用 ④公民館事業への青少年の参加促進

(2) 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する

- ①学校支援活動事業の推進 ②家庭教育の充実 ③音楽療法士派遣事業 ④青少年健全育成活動の充実 ⑤少年相談センターの活動の充実 ⑥社会教育委員の活動の充実 ⑦生涯学習推進体制の充実 ⑧高齢化社会に対応した生涯学習の充実 ⑨大館版リカレント教育事業の展開 ⑩障害者のための生涯学習の推進

(3) 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する

- ①高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施

(4) 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する

- ①「生涯学習フェスティバル」の実施 ②「大学公開講座」の実施 ③地区住民や関係団体との連携強化 ④地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化 ⑤公民館事業の充実と参加促進 ⑥放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施 ⑦「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催 ⑧木育事業の実施

(5) 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める

- ①図書館運営に関する進行管理

(6) 伝統・芸能・文化の継承と振興を支援する

- ①芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用 ②郷土芸能保存協会等との協働 ③新たな芸術文化鑑賞の機会の提供

(7) 文化財の保護と調査を進め、未来に伝える

- ①ニホンザリガニ生息地再生と増殖 ②市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
③鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組み

3. 社会教育施設一覧・利用状況

[1] 施設一覧 (R4.5.31現在)

施設名	設立年	建 築 床面積	区域人口 (世帯数)	館 長 名	専兼 非別	職 員		専併 非別
						職	氏 名	
中央公民館	昭和21年	m ² 4,500.75	人 27,375 (13,296)	武 田 吉 輝	兼	係主 "主 会計年度任用職員 "	長 佐 藤 正 平 査 石 田 貴 子 任 山 本 健 司 片 関 留美子 石 岡 恵美	専 " " " " " "
釈迦内公民館	昭和25年	1,279.29	6,232 (2,820)	小 田 春 幸	非	係主	長 桂 田 中 任 外 館 裕 太	併 専
長木公民館	昭和28年	775.33	3,485 (1,534)	三 浦 栄 一	非	係主	長 佐々木 金 義 事 桂 田 岳	併 専
長木公民館 雪沢分館	昭和30年	441.30	418 (183)	畠 山 篤 志	非			
上川沿公民館	昭和28年	2,835.39	2,372 (1,024)	本 多 博 雄	非	係	長 兜 森 和 晴	併
下川沿公民館	昭和28年	777.44	4,813 (2,213)	佐 藤 眞 人	非	係	長 小 林 聖 一	併
真中公民館	昭和32年	541.06	1,132 (442)	武 田 豊	非	係	長 佐 藤 竜 哉	併
二井田公民館	昭和30年	676.95	1,565 (673)	松 田 誠 行	非	係	長 長 崎 浩	併
二井田公民館 麓西分館	昭和62年	756.69	400 (154)	芳 賀 保	非			
十二所公民館	昭和27年	622.29	3,008 (1,531)	吉 成 真	非	係	長 渡 部 甚 弘	併
花岡公民館	昭和30年	1,028.86	2,185 (1,021)	伊 勢 善 和	非	係	長 篠 村 裕 紀	併
矢立公民館	昭和41年	3,070.15	1,434 (657)	若 松 俊 一	非	係	長 岩 谷 憲 昭	併
比内公民館	昭和30年	3,181.22	8,763 (3,711)	神 成 幸 忠	非	係主 会計年度任用職員 "	長 嶋 田 昌 歌 小 玉 紀菜美子 佐 藤 美 子	専 " " " "
比内公民館 扇田分館	昭和30年	比内公民館内	3,970 (1,809)	明 石 和 夫	非	主	事 萬 田 清 一	非
比内公民館 西館分館	昭和30年	構造改善 センター	1,909 (741)	多賀谷 隆 文	非	主	事 若 宮 誠	非
比内公民館 八木橋分館	昭和30年	517.77	451 (165)	長谷部 勇 弘	非	主	事 佐々木 晃 吉	非
比内公民館 東館分館	昭和30年	336.20	1,043 (415)	武 田 孝	非	主	事 野 呂 忠 朗	非

所在地	電話番号	備 考
大館市字桜町南45-1	0186-42-4369	昭21. 9 大館町議会、公民館設置を議決する 昭21.11 御大典記念公会堂「公民館」として設置 昭30. 3 名称を「中央公民館」と改称、衆楽園に移転 昭49. 9 県立桂高校跡地に移転、スポーツ館併設 昭60.12 改築 平15. 4 サンアビリティーズ大館を雇用能力開発機構より譲渡
〃 釈迦内字上大留6	0186-43-7117	昭55.10 移転改築 平 4. 3 改築 (倉 庫 79.48m ²)
〃 上代野字八幡岱24-1	0186-43-7118	平28.12 改築
〃 雪沢字上谷地55-3	—	昭56.10 改築
〃 池内字大出135	0186-42-0836	平25.12 交流センターへ移転
〃 川口字隼人岱108-55	0186-49-0271	昭53. 9 改築 (倉 庫 20.15m ²) 平27. 1 改築 (本館・講堂 757.29m ²)
〃 出川字上野30	0186-49-5928	昭58.11 改築 (廊下 32m ² 倉庫 124m ²) ・農林業多目的研修集会施設(昭56.3 新築)を管理運営
〃 二井田字高村1	0186-49-4121	平19. 1 改築 (倉 庫 36.43m ²) (ポンプ室 3.54m ²)
〃 比内前田字下前田8	—	昭62. 4 旧麓西振興会館に設置 平元.12 改築 (倉 庫 48.2m ²) ・麓西体育館(平2.2 新築564.40m ²)を管理運営
〃 十二所字元館1-1	0186-43-7123	平24. 1 改築 (ポンプ室 7.45m ²)
〃 花岡町字前田102-3	0186-43-7124	昭60. 2 改築 (ポンプ室 6.34m ²) 昭60. 3 増築 (倉 庫 20.00m ²) 平10. 1 事務室増築
〃 白沢字白沢1149	0186-43-7125	平28.12 旧矢立中学校へ移転 (物 置 154.87m ²) (焼却炉 10.00m ²) (3, 4階 590.57m ²)
〃 比内町扇田字庚申岱8	0186-43-7141	平20.12 改築 (公民館 2,516.98m ²) 図書館、郷土民俗資料館増設 (付属体育館 644.51m ²) (機械室他 19.73m ²)
〃 比内町扇田字庚申岱8	—	比内公民館内
〃 比内町達子字曲谷地62-7	—	平 3 新築 構造改善センター内 (241.805m ²)
〃 比内町八木橋字畠沢岱16	—	平14 旧八木橋小学校(昭30建築)の理科室と音楽室を、 講堂分館として活用
〃 比内町独鈷字小館下18-2	—	昭51 新築 東館コミュニティセンターを分館として活用

施設名	設立年	建 築 床面積	区域人口 (世帯数)	館 長 名	専兼 非別	職 員		専併 非別	
						職	氏 名		
比内公民館 味噌内分館	昭和30年	m ² 223.90	人 293 (121)	佐 藤 正 喜	非	主 事	佐 藤 巧	非	
比内公民館 三岳分館	昭和30年	旧三岳小学校	661 (267)	本 間 昭 弘	非	主 事	本 間 賢 一	非	
比内公民館 大葛分館	昭和30年	高齢者若者 センター	436 (193)	三 浦 兼 裕	非	主 事	佐 藤 正 彦	非	
田代公民館	昭和51年	2,059.90	5,559 (2,367)	伊 藤 康 栄	非	係 長 会計年度任用職員	幸 坂 堯 成 田 恵 子	専 〃	
田代公民館 早口一分館	平成17年	995.95	957 (394)	佐 藤 正 夫	非	主 事	富 樫 滋	非	
田代公民館 早口二分館	昭和58年	473.90	711 (307)	五十嵐 香 平	非	主 事	石 川 勇 悦	非	
田代公民館 本郷分館	昭和52年	284	203 (96)	下 山 茂	非	主 事	高 橋 誠	非	
田代公民館 岩野目分館	昭和49年	451.01	322 (139)	工 藤 俊 一	非	主 事	小 林 秀 樹	非	
田代公民館 大野分館	昭和47年	1,195.10	113 (55)	工 藤 秀 雄	非	主 事	安 保 敬 一	非	
田代公民館 岩瀬分館	昭和55年	407.79	738 (317)	三 浦 敏 司	非	主 事	小笠原 正 人	非	
田代公民館 谷地の平分館	昭和52年	457.02	1,138 (492)	古 家 明	非	主 事	吉 田 満 照	非	
田代公民館 赤川分館	昭和53年	595	570 (233)	藤 田 薫	非	主 事	前 田 徳 美	非	
田代公民館 越山分館	昭和48年	356.40	272 (135)	石 井 充 伸	非	主 事	小 林 幸 宏	非	
田代公民館 山田分館	昭和50年	599.47	535 (199)	田 村 紀 穂	非	主 事	岩 沢 繁	非	
大館市民交流 センター	昭和57年	866.55	68,741 (31,626)	武 田 吉 輝	兼	会計年度任用職員 〃 〃 〃	河 田 美智子 佐々木 圭 子 月 永 彩 香 長 崎 恵 美	専 〃 〃 〃	
松下村塾	昭和59年	60.17	68,741 (31,626)						

所 在 地	電話番号	備 考
// 比内町味噌内字鬼ヶ沢10	—	昭57 旧東館小学校第一分校（昭32建築）を分館として活用 同年内装工事実施 平18 2月一部解体(237.94m ²) 7月改築
// 比内町中野字上客路橋17	—	平18 旧三岳小学校（昭28～38建築）校舎の一部を分館施設として活用
// 比内町大葛字大葛家後74-3	—	平 3 新築 大葛高齢者・若者センター内
// 早口字上野43-1	0186-43-7126	昭51. 8 新設 総合開発センター 平17. 6 改称 田代公民館・付属体育館 595.00m ²
// 早口字上野55-8	—	平17. 2 購入 早口営林署庁舎（昭51建築） 平17. 6 改修 早口一分館として開設 (倉 庫 7.75m ²)
// 長坂字宝田岱33-35	—	昭59. 1 新設 田代西公民館 平17. 6 改称 早口二分館
// 早口字上屋敷66-2	—	昭52. 5 本郷児童館より転用 昭54. 8 改築 本郷公民館 平17. 6 改称 本郷分館
// 早口字岩野目22	—	昭49. 9 新設 岩野目地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 岩野目分館
// 早口字大野1-4	—	昭47.12 新設 大野地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 大野分館 平26 大野体育館が移管
// 岩瀬字大柳95-6	—	昭56. 3 新設 岩瀬公民館 平17. 6 改称 岩瀬分館
// 早口字深沢岱40-4	—	昭52.10 新設 谷地の平公民館 平14. 4 改築 平17. 6 改称 谷地の平分館
// 岩瀬字赤川20	—	昭54. 3 新設 赤川公民館 平17. 6 改称 赤川分館
// 岩瀬字越山向岱77-5	—	昭48.11 新設 越山地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 越山分館
// 山田字寺下42	—	昭50.11 新設 山田地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 山田分館
// 根下戸新町6-13	0186-49-7028	昭57. 4 新築 働く婦人の家 平13. 4 改称 女性センター 令 4. 4 改称 大館市民交流センター
// 字谷地町12	—	昭59.10 新築 平29. 4 移築

施設名	設立年	建 築 床面積	区域人口 (世帯数)	館 長 名	専兼 非別	職 員		専併 非別	
						職	氏 名		
少年相談 センター	昭和39年	m ² 中央公民館内	人 68,741 (31,626)	高 橋 秀 一	兼	少年指導・相談員	櫻 庭 博 子	専	
桂城 児童センター	昭和56年	499.50	5,742 (2,819)	糸 屋 みさえ	非	会計年度任用職員 "	米澤美佳子 田山淳子 兜森百合子 成田貴子	非 " " "	
釈迦内 児童センター	昭和63年	397.00	5,717 (2,592)	"	"	会計年度任用職員 " " "	石田博子 日景由紀子 七尾美智代 菊地桂子	非 " " "	
城西 児童センター	平成15年	407.11	6,391 (3,075)	"	"	会計年度任用職員 " " "	畠山弥生 三浦ゆかり 河野佐知子 藤島葉子	非 " " "	
有浦児童会館	昭和55年	350.93	9,059 (4,190)	"	"	会計年度任用職員 " " "	竹村ひとみ 山田桂子 若松真喜子 佐々木敦子	非 " " "	
有浦児童会館 分館	平成24年	269.21				会計年度任用職員 " " "	金谷千佳子 河田裕子 高田一恵 阿部詩織	非 " " "	
城南児童会館	平成11年	229.01				会計年度任用職員 " " " " "	佐々木美香 菅原幸織 伊藤由紀子 池田江利子 本間恵子 安部智斐路	非 " " " " "	

所 在 地	電話番号	備 考
// 字桜町南45-1	0186-42-0769	昭39. 7 県が大館市少年補導センター開設 昭46. 3 大館市に移管 昭57. 7 大館市少年相談センターと名称変更
// 水門町1-5	0186-49-4708	昭56.12 新築
// 釈迦内字相染台24	0186-48-4486	昭63. 4 新築
// 城西町8-1	0186-43-6153	平15. 7 新築
// 有浦四丁目6-43	0186-49-4420	平19.11 新築
// 有浦一丁目8-33	0186-42-3131	平24. 3 改築
// 字桜町7-2	0186-42-8719	平24. 3 改築

〔2〕利用状況

(単位：人)

施設名		年度	H29	H30	R1	R2	R3
公 民 館	中 央		102,221	98,979	95,654	67,455	79,105
	釈 迦 内		19,451	17,629	16,471	11,123	11,830
	長 木		16,316	16,283	18,890	14,697	16,770
	雪沢分館		2,542	2,049	2,219	1,127	1,234
	上 川 沿		22,527	19,888	21,473	16,937	19,655
	下 川 沿		9,079	11,007	12,086	7,863	8,754
	真 中		7,024	6,995	8,054	4,781	4,464
	二 井 田		7,678	8,321	10,503	5,936	7,072
	麓西分館		3,068	2,082	2,647	1,386	1,359
	十 二 所		10,709	7,799	8,180	6,013	5,946
	花 岡		14,304	13,527	16,062	10,316	11,390
	矢 立		9,038	9,338	8,997	6,147	5,671
	比 内		37,736	30,777	30,024	19,074	22,440
	扇田分館		-	-	-	-	-
	西館分館		-	-	-	-	-
	八木橋分館		294	181	148	0	72
	東館分館		4,409	3,686	3,580	2,557	2,614
	味噌内分館		1,019	738	940	563	683
	三岳分館		1,627	736	1,140	63	419
	大葛分館		-	-	-	-	-
	田 代		13,220	11,063	10,778	7,949	9,172
	早口一分館		2,590	2,231	1,778	864	1,062
	早口二分館		2,271	1,553	1,741	495	701
	本郷分館		906	795	832	383	675
	岩野目分館		1,284	1,258	1,222	505	967
	大野分館		1,029	894	689	548	1,351
	岩瀬分館		2,297	2,408	2,635	865	1,135
	谷地の平分館		4,224	3,394	3,611	2,042	2,218
	赤川分館		2,395	2,094	2,114	1,035	1,726
	越山分館		871	655	1,052	460	674
	山田分館		2,832	2,945	2,947	2,028	2,190
女 性 セ ン タ ー			10,623	10,708	11,769	13,983	11,186
勤 労 青 少 年 ホ ー ム			17,489	16,236	11,871	8,332	7,265
松 下 村 塾			1,151	1,039	1,147	594	599
児 童 育 成 施 設	桂城児童センター		16,748	15,227	15,583	17,787	19,250
	釈迦内児童センター		15,035	14,501	15,327	16,743	15,035
	城西児童センター		17,159	17,029	16,399	17,663	14,058
	有浦児童会館		19,807	20,167	18,364	18,565	17,851
	有浦児童会館分館		16,651	14,313	12,013	12,944	12,716
	城南児童会館		11,330	12,626	12,387	12,254	12,228

4. 各施設の概要

〔1〕 公 民 館

令和4年度 大館市公民館事業計画

【運営方針】

公民館は、これまで、地域における住民の学習の場として、また、住民の地域活動を支え、地域コミュニティづくりの中核をなす施設として、大きな役割を果たしてきました。しかしながら、昨今の公民館を取り巻く環境は、超高齢社会、若者の流出による人口減少に伴う地域の担い手不足などの課題を抱えています。

そのような課題を解決するとともに、地域の活性化を図るために「ひとづくり」という観点から、学校をはじめとする地域内の各種団体との連携を強め、多様な学習機会の提供、学習団体・グループの育成・支援、そして若い世代が参加しやすい事業の実施により「生涯を通して学び、人財が育つまち」を目指します。

【重点目標】

1. 地域コミュニティづくりのための活動強化
2. 地区公民館連携事業の創出
3. 地区の特色を活かした事業の創出
4. 高校生まちづくり会議「HACHI」の充実
5. 世代間交流事業の充実
6. 高校生・大学生とのボランティア活動による事業連携
7. 施設の改修や修繕、防災拠点としての安全対策

【事業内容】

1. 中央公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・わんぱくスクール ・夏休み将棋教室 ・夏休み囲碁教室 ・新春書き初め交流会	8月～1月 7月 8月 1月
	若年 ・高校生まちづくり会議「HACHI」	5月～3月
	高齢者 ・大館市老壮大学	4月～2月
芸術文化	生涯学習フェスティバル ・サークルまつり	9月24～25日
社会体育	・大館市ラジオ体操会 (三世代交流事業)	4月23日～ 10月1日
広報	・中央公民館だより (web版のみ)	随時



高校生まちづくり会議「HACHI」
(大館巡り)



夏休み囲碁教室

2. 釈迦内公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・納涼小祭り ・世代間交流会	7月 1月
	成人 ・温故知新会	通年 (隔月1回)
	高齢者 ・相染慶老大学	5月～3月
芸術文化	釈迦内地区文化祭	11月
社会体育	釈迦内地区市民運動会	6月
	各種スポーツ大会	6月～3月
広報	公民館だより	4月～3月



相染慶老大学

3. 長木公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・小学生将棋大会	2月
	女性 ・女性教室(女の教室)	4月～3月
	一般 ・館外研修会 ・長木地区カラオケ交流会 ・自然散策会 ・長木地区囲碁・麻雀大会	7月 8月 10月 2月
	高齢者 ・長寿学級	4月～3月
芸術文化	公民館祭	11月
社会体育	長木地区市民運動会 雪沢地区市民運動会	6月
	各種スポーツ大会	7月～3月
広報	公民館だより	4月～3月



公民館祭

4. 上川沿公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年・親子 ・きりたんぼ作りに挑戦 (婦人会と連携)	随時
	女性 ・ヘルシーメイト教室 (婦人会と連携)	
	成人一般 ・ご家庭でも簡単イタリアン ・健康教室	
芸術文化	ふるさと文化祭	11月
	春をよぶ音楽祭	2月
社会体育	住民運動会	6月
	各種スポーツ大会	5月～3月
広報	公民館だより	4月～3月



健康教室

5. 下川沿公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・雪上レクリエーション	2月
	高齢者 ・公民館学習事業しもかわぞいロイヤル	4月～3月 月1回開催
	一般 ・幼、小、中、PTA、 公民館合同研修会	随時
芸術文化	下川沿地区文化祭	10月
社会体育	地区住民親睦運動会	6月
	各種スポーツ大会	7月～12月
広報	公民館だより	4月～3月



ボッチャ交流会

6. 真中公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	幼児 ・サケの稚魚放流 ・ひまわり体験	4月 5月～10月
	少年 ・算数・数学、 ふるさと学び教室	8月
	高齢者 ・いきいき学級	5月～3月
芸術文化	さけ稚魚放流会	4月
	ひまわり種・苗植え、 撮影会、収穫	5月～9月
	真中地区文化祭	11月
社会体育	真中地区大運動会	6月
	各種スポーツ大会	6月～12月
広報	公民館だより	4月～3月



幼児サケの稚魚放流

7. 二井田公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・ちびっこ夏まつり& 盆踊り大会 ・ちびっこ冬まつり	8月 2月
	高齢者及び成人 ・公民館交流サロン	5月～3月
	高齢者（麓西地区） ・ハチ公学級	9月 11月
	女性 ・女性学級	12月
芸術文化	二井田地区文化祭	11月
社会体育	二井田地区住民運動会	6月
	各種スポーツ大会	7月～2月
	麓西地区三世代交流会	8月
	麓西地区交流 ユニカールの集い	3月
広報	公民館だより	4月～3月



交流サロン（森吉山山歩き編）

8. 十二所公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	一般 ・成人学級	4月～3月
	少年、一般 ・十二所盆踊り大会 ・かまくらやき	8月 2月
	文化祭	11月
	十二所地区 市民運動会	8月
社会体育	各種スポーツ大会	5月～12月
	広報	公民館だより

9. 花岡公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・ひょうたん子学級 (子ども公民館) ・学童野球大会	12月・1月 7月
	高齢者 ・長寿大学	4月～3月
	一般 ・花いっぱい運動	6月～10月
	産業文化祭	10月
社会体育	各種スポーツ大会	5月～3月
広報	公民館だより	4月～3月

10. 矢立公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	乳幼児 ・地域子育て学級	7・11月
	一般 ・矢立峠散策会	5・7・10月
	一般 ・すこやか教室	6月～2月
	女性 ・矢立婦人団体 学習支援事業	12月～3月
芸術文化	公民館祭り	10月
社会体育	各種スポーツ大会	6月～2月
広報	公民館だより	4月～3月



十二所かまくらやき



花岡長寿大学
(館外研修)



矢立峠散策会

11. 比内公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	成人 ・比内あおぞら学園 《教養科目》 ・講話 ・館外研修ほか 《選択科目》 ・料理・合唱 ・体操・歴史 ・書道	5月～12月
	一般 ・星空観望会	7月・10月
芸術文化	比内芸術文化祭 文化講演会 新春書き初め会	11月 11月 1月
社会体育	分館対抗スポーツ大会 トレッキング講座	7月 10月
広報	公民館だより (web版のみ)	4月～3月



第47回比内芸術文化祭

(比内支援学校高等部3年生によるワンだふるはちくんダンス)

比内公民館分館

分館名	主 な 事 業
扇 田	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・扇田地区運動会(9月)・とっとこども駅伝(9月)・隣近所の助け合い講座(2月)
西 館	分館運営委員会(随時)・クリーンアップ(4・10月)・ポッチャ大会(5月)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・比内支援学校夏祭りへの協力(7月)・西館地区市民運動会(8月)・ユニカル大会(11月)・西館ふれあい祭り(2月)・比内支部長杯ユニカル大会(3月)
八木橋	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(4月)・さなぶり運動会(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・比内支援学校夏祭りへの協力(7月)・ポッチャゲームレク(9月)・グラウンドゴルフ(10月)・はちくんオープンポッチャ交流会参加(1月)
東 館	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(5月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・分館周辺除草作業(8月)・地域スポーツ交流会(8～9月)・分館周辺除雪作業(2月)・次年度カレンダー製作、配布(3月)
味噌内	分館運営委員会(随時)・クリーンアップ(4月)・花いっぱい運動(6月～9月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・比内ユニカル大会(7月)・運動会、住民交流会、こども祭り(9月)・健康づくり応援教室(9月)・老壮交流会(12月)・ユニカル同好会交流会(12月)・新年会、ポッチャ大会(1月)・分館雪下ろし(1月)・文化講演会(3月)・広報「杉の子」発行(随時)
三 岳	分館運営委員会(随時)・チャレンジデー(5月)・花いっぱい運動(6月)・グラウンド草刈り(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・地区スポーツ大会(8月)・きりたんぽ交流会(11月)・雪中田植え、作占い(2月)・閉講式(3月)
大 葛	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(6月)・旧大葛小学校園庭整備(6月)・地区運動会(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・大葛温泉まつり(7月)・盆踊り・カラオケ・花火大会(8月)・ユニカル大会(8月)・大葛新そば収穫祭(12月)・新年祝賀会(1月)・合同歳祝い会(2月)



新春書き初め会

12. 田代公民館

区分	事業名	開催時期
社会教育	少年 ・キッズカレッジ ・たしろ学舎 ・新春書き初め会（廃止）	5月～1月
	高齢者 ・田代公民大学全8回	5月～12月
	一般 ・野鳥観察会 ・田代岳登山 ・花いっぱい植栽運動、 花壇コンクール（審査） ・ガーデニング講座 ・そば打ち講座	5月14日 6月4日 5月～11月 5月・10月 7月・12月
芸術文化	田代地区文化祭	11月 19～20日
	田代川柳大会（募集期間）	9月～10月
社会体育	米代川川下りカヌー体験	7月30日
広報	公民館だより（隔月）	4月～3月



田代公民大学

田代公民館分館

分館名	主な事業名
早口一	運営委員会（随時）・地区運動会 ・スポレク・分館祭・公民館祭 ・各種講座開催・雪まつり
早口二	運営委員会（随時）・地区運動会 ・分館祭・各種講座開催
本郷	運営委員会（随時）・スポレク・分館祭 ・各種講座開催
岩野目	運営委員会（随時）・地区運動会・スポレク ・分館祭・各種講座開催
大野	運営委員会（随時）・地区運動会・分館祭 ・各種講座開催
岩瀬	運営委員会（随時）・地区運動会・夏祭り ・分館祭・白ひげ巡行・各種講座開催
谷地の平	運営委員会（随時）・地区運動会・ラジオ体操 ・分館祭・スポレク・各種講座開催
赤川	運営委員会（随時）・地区運動会・サロン会 ・分館祭・各種講座開催・環境整備・新年会
越山	運営委員会（随時）・地区運動会・夏祭り ・秋祭り・冬祭り・分館祭・新年を祝う会 ・各種講座開催
山田	運営委員会（随時）・地区運動会・分館祭 ・各種講座開催・大掃除・地区新年会 ・婦人祭



キッズカレッジ（砂金採り体験）

【2】市民交流センター（R4.4.1 女性センターから改称）

【運営方針】

1. 日常生活をとりまく環境が変容する中で、職場や家庭で役立つ技術や知識を習得する場としての環境を整え、学習の機会を提供し、各定期講座を開設します。
2. 各講座終了後も引き続き学習を続け、定期的な自主運営を目標としたサークルの育成を支援することと、その充実を図ります。
3. 市民交流センターの自主サークル会への支援に努めます。
4. 木育ひろばを広く周知し、利用促進に努めると共に木育事業の推進を図ります。

【重点施策】

1. 定期講座の内容充実を努め、利用拡大を図る。
 - (1) 利用者のニーズに合わせ、魅力ある講座を開設し、生活文化の向上を図る。
☆定期講座 5講座 募集人員 109人
 - (2) 利用者の育成、社会参加活動の促進を図る。
 - (3) 市民の健康管理と体力づくりの増進を図る。
年中行事や季節に合わせた講座の開設に努める。
☆短期講座 10講座 募集人員 124人
2. 自主サークル活動の運営に対する支援
 - (1) センターまつりの開催 令和4年9月16日（金）～17（土）
 - (2) 自主サークル発表会 令和4年12月1日（木）
3. 木育事業の推進
 - (1) 木育ひろばの活用
 - ・子育て中の親子がいつでも遊べる屋内ひろばとして、幼児から高齢者まで気軽に木の温もりに直接触れてもらうことにより、木の良さや森林の大切さを感じ、木育に関心を持ってもらう。
 - (2) Let's go木育ひろば（移動木育ひろば）を実施
 - ・市内小学校、保育園5施設を訪問予定

【令和3年度利用状況】

1. 月別利用者数

（単位：人）

区分／月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
勤務する女性	262	292	305	258	205	268	414	268	257	189	108	181	3,007
家庭内の女性	608	546	671	625	439	571	1,151	545	511	436	182	365	6,650
託 児	6	2	0	9	5	8	8	6	7	5	4	9	69
そ の 他	135	100	120	132	133	112	237	121	125	96	65	84	1,460
合 計	1,011	940	1,096	1,024	782	959	1,810	940	900	726	359	639	11,186

2. 年齢階層別利用者数

（単位：人）

総 数	6歳未満	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
11,186	977	297	1,051	1,237	7,624

3. その他

☆ 開館日数	293 日
☆ サークル数	32 団体
☆ サークル会員数	288 人
☆ センター主催事業参加人数	1,302 人
☆ グループ、団体等利用人数	9,815 人

【令和4年度事業計画】

1. 定期講座

事業名	開催時期	曜日	時間	回数	定員	備考
秋田伝統工芸品 「組子細工講座」	4/6、4/22	水、金	10:00～12:30	全2回	各10人	材料費 実費
「初めてでも♥気軽に ピラティス」講座	5/11、5/26	水、木	10:00～12:00	全2回	各10人	
美文字 【ペン習字】講座	6/6、6/13	月	13:30～15:30	全2回	各15人	材料費 実費
歌声コーラス♪講座	6/10、6/23	金、木	10:00～11:00	全2回	各15人	
健康麻雀初級講座	7/2～10/29 毎週土曜日	土		全2回	若干名	テキスト 代あり

2. 短期講座

事業名	開催時期	曜日	時間	回数	定員	備考
「脳トレカフェ」講座	4/25	月	13:30～15:30	1回	15人	
生け花❀講座	5/21	土	10:00～12:00	1回	15人	
プレパパ・プレママ 【木育講座】	5/28	土	10:00～12:00	1回	8組	
シニア向け 【木のぬくもり講座】	6/20	月	13:30～15:00	1回	15人	
毎年大好評 【巻き寿司講座】	6/27	月	10:00～12:00	1回	15人	
講師は高校生 「陶芸教室」	7/14	木	10:30～12:00	1回	8人	
親子講座 「木のおもちゃを作ろう」	7/26	火	10:00～12:30	1回	8組	

シニア向け 【ピンポン(卓球)講座】	10/6	木	13:30～15:30	1回	10人	
そば打ち講座	11/11	金	10:00～12:30	1回	15人	
米粉で簡単♥クリスマスおもてなし講座	12/6	火	10:00～12:30	1回	15人	

【利用について】

- 1.開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時
 土曜日 午前9時～午後5時
- 2.休 館 日 日曜日・祝日・12月29日～1月3日

【3】 勤労青少年ホーム 令和4年4月1日 廃止

【運営方針】

スポーツ、レクリエーション、文化、教養、サークル活動等を通し勤労青少年の健全育成を推進すると共に、市民に施設を開放することにより幅広い世代間交流を図ります。

【重点施策】

1. 学習機会の提供

勤労青少年に学習の機会と場を提供し、地域・世代間交流を推進する。

2. 施設の有効活用

勤労青少年の利用がなされない時は、幅広い世代の市民に施設を開放し、施設の有効活用を図る。

【令和3年度利用状況】

1. サークル……22サークル

卓球（6）、太極拳（1）、健康体操（2）、吹矢（1）、フォークダンス（1）、コーラス（1）、ハンドベル（1）、茶道（2）、華道（1）、絵手紙（2）、刺し子（1）、手芸工芸（2）、料理（1）

2. 利用者数（開館日数 331日）

区 分	ホーム主催事業	サークル活動	個人利用	その他利用	合 計
利用者数（人）	8	4,596	2,113	548	7,265
利用回数（回）	1	790	818	47	1,656

【4】 北地区コミュニティセンター

【所在地】 大館市有浦一丁目8番15号 TEL 0186 - 45 - 0515

【運営方針】

教養・文化・研修、並びにスポーツ等の活動の場を提供することにより、市民の学習意欲の向上と、健康増進活動推進を図ることを目的とします。

【管理運営】

平成23年に勤労者総合福祉センター（サンクレア）と職業訓練センターが統合され、平成24年4月より北地区コミュニティセンター本館・別館として始動しました。

平成30年4月1日からは、株式会社やたてが指定管理者になりました。

（指定管理期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日）

【令和3年度利用状況】 62,032人

【5】 図 書 館

指定管理者 一般財団法人大館市文教振興事業団

(指定管理期間：平成25年4月1日～令和5年3月31日)

【所 在 地】

栗盛記念図書館	大館市字谷地町13番地	TEL 0186-42-2525
花矢図書館	大館市花岡町字前田162番地3	TEL 0186-46-1557
比内図書館	大館市比内町扇田字庚申岱8番地	TEL 0186-43-7142
田代図書館	大館市早口字上野43番地1	TEL 0186-43-7127

【基本方針】

図書館が情報資源の保存と活用に関する重要施設であることを認識し、また市民の大きな期待とともに注視をも意識しながら、事業団としては緊張感を持って事業実施にあたっていきます。

また、10年間という指定管理期間の中で、事業団としては以下の図書館像をその運営及び事業に関わる基本方針とします。

- ① 大館の過去と現在に学ぶ図書館
- ② 未来の大館づくりに貢献する図書館
- ③ 情報が集まり発信される情報センターとしての図書館
- ④ 人をつなぎ市民が育つプラットフォームとしての図書館
- ⑤ 信頼と親愛の図書館へ

【主な読書活動推進事業】

○栗盛記念図書館

事業名	事業内容
ボランティア図書館利用促進事業	ボランティア活動の推進を目的として、各団体に対して図書館のスペースを開放して読書推進活動に利用していただき、地域と連携・密着した親しみやすい図書館を目指す。
おひざにだっこのおはなし会	主に乳幼児と保護者を対象に読み聞かせを定期的に行う（月1回）
大人向けおはなし会	大人を対象とした読み聞かせを定期的に行う（月1回）
特別おはなし会	子どもの読書週間や夏・冬・春休み等の長期休暇期間に合わせて年数回実施するほか、市内高校の図書委員会と連携した読み聞かせ会を継続開催。
おはなしとしょかん	職員による季節に応じた内容のおはなし会を実施（年1回、夏予定）
幼保・学校支援連携事業	小・中学校へ職員（飛び出す図書館司書）を派遣し、学校図書館の整備や読書活動推進への支援を行う。幼保へは、絵本だよりの発行や要望に応じた読み聞かせボランティアの派遣などを行う。
ブックスタート事業	市福祉部健康課と連携し、5ヶ月児すこやか教室の際に絵本のプレゼント及び読み聞かせを行う。（参加できない場合は図書館でも配布する）
図書館でホッとタイム	ゲスト講師による講演や鑑賞などを企画（月1回、後援会との共催）
文学講座「伊勢物語」	元大館鳳鳴高校校長の菅原明雅氏を講師に『伊勢物語』の講読会を行う。（月2回、後援会と共催）
図書館の中のちいさな美術館	市民の作品（絵画・書・写真など）を募集し、ロビー壁面に展示することで、来館者層の広がりを図る。
子どもの読書週間関連事業	子どもの読書週間に合わせて、各館ごとに本の展示やおはなし会を開催。
図書館でビンゴ	子どもたちを対象にビンゴカードを配布し、マス毎に設定したテーマの本を読むことでビンゴを達成し、記念品を贈呈。新しい本との出会いを楽しんでもらう。
にぎわいひろば「ことりのさえずり」	障がい者の居場所作りや図書館利用の第一歩として、ラウンジを会場に定期的な交流の場を設ける。ミニライブや読み聞かせなど一緒に楽しめる企画を実施。（現在休止中）
栗盛記念図書館 図書館まつり	新規利用者獲得・利用促進・読書推進をねらいとして、多種多様な読書関連イベントを開催。
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌や寄贈資料のうち受け入れしなかった図書などを無償譲渡。（「図書館まつり」に実施）

第53回大館市読書感想文コンクール	2部門（一般・高校生）で読書感想文コンクールの応募者を募集。後日、審査の上、受賞者には記念品贈呈、表彰式を行う。
工作教室	季節に合わせた工作系ワークショップを開催（年2回）
おとなの社会科見学 ～図書館の裏側潜入ツアー～	普段目にすることのない閉架書庫や資料保管庫などの見学ツアーを企画し図書館の新たな魅力を発見してもらい、図書館のファンを獲得する。（大町商店街振興組合主催の「まちゼミ」参加事業）
文化講演会	文化人等を講師に迎えて講演会を開催（後援会との共催）
真崎コレクション展	栗盛記念図書館所蔵文化財を特別展示。ギャラリートークも開催。
絵本ビブリオバトルVol.4	おすすめ絵本を紹介しあうイベント。一人5分で発表後、2～3分間のディスカッションを行う。最後に一番読んでみたくなった本を投票で決定する。
お正月を遊ぼう！	カルタ・すごろく・福笑いなど、昔懐かしいお正月遊びを通じて、ご年配の方や子どもたちが一緒に楽しみながら世代間交流を深めてもらう。遊びのほか、お正月に関する書籍を展示する。
図書館でボードゲーム！！	子どもから大人まで幅広く遊べるボードゲームを通じて、図書館を核とした世代間交流等、新たな利用者の獲得を目指す。
図書館スタンプラリー	市立図書館各館で職員おすすめ本のリストを作成し、リスト内の本を借りたらスタンプを押す。1館につき5冊分のスタンプが4館分たまった方に記念品を贈る。
もっと知りたい絵本の世界	絵本作家を迎え、講話やワークショップ、作品を通して参加者に「絵本作りに込められた想い」を知ってもらい絵本の楽しさ、愛着を深めてもらう。（子どもゆめ基金申請事業）
英語絵本読み聞かせボランティア養成講座	子どもたちが英語に親しむ機会を作るための読み聞かせのボランティアの養成とフォローアップ研修を行う。（子どもゆめ基金申請事業）
子ども限定！読み聞かせにチャレンジしよう！	読み聞かせをしてもらう側の子どもたちがより本に親しむために選書から体験し、読解力、表現力を学ぶことで、読書にかかわっていただけることを目的とする。（子どもゆめ基金申請事業）

○花矢図書館

事業名	事業内容
読書感想画展	幼児から読書感想画を募集し展示（地区文化祭）
定例おはなし会	幼児・児童を対象に開催（月1回）
秋田弁で楽しもうin花矢	秋田弁でのお話や昔ながらの遊びを実施（夏休み中）
団体貸出	近隣保育園（3園）と小学校へ図書を貸出
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼント（地区文化祭）
「花矢図書館だより」発行	新着本やおすすめ本、関連情報等を掲載し、近隣施設に配布
百人一首で遊ぼう！	地域の放課後児童なかよしクラブと連携して、百人一首大会を実施

○比内図書館

事業名	事業内容
芸術文化祭in比内図書館	工作体験、雑誌プレゼントなど（地区文化祭）
団体貸出	保育園、小学校へ図書を貸出
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼント（地区文化祭）
ミニ工作コーナー	図書館の本を参考に、主に小学生を対象とした工作体験を実施（地区文化祭）

○田代図書館

事業名	事業内容
訪問読み聞かせ	ボランティアと連携し、小学校への訪問読み聞かせを実施。
読書感想画コンクール	児童から読書感想画を募集しコンクールを実施。
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼント。（地区文化祭）

【蔵書数】

(R4.3.31現在)

館名	一般書	児童書	郷土資料	その他	計
栗盛記念図書館	108,798 (87,163)	2,545 (25,657)	11,592 (11,432)	700 (985)	123,635 (125,237)
移動図書館					17,998 (17,777)
花矢図書館	8,184 (8,193)	3,909 (3,753)	1,235 (1,244)	234 (214)	13,562 (13,404)
比内図書館	23,666 (23,340)	8,834 (8,928)	1,838 (1,797)	137 (181)	34,475 (34,246)
田代図書館	32,685 (32,591)	12,389 (12,263)	2,213 (2,198)	148 (148)	47,435 (47,200)

※栗盛記念図書館では真崎文庫(古文書) 2,099点を所蔵 () は、昨年度末の数値

【令和3年度利用状況】

○栗盛記念図書館

入館者数 107,640 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	26	9,775	2,415	376	93
5	26	8,915	2,090	343	80
6	26	8,958	2,250	345	87
7	27	10,081	2,476	373	92
8	26	9,372	2,278	360	88
9	26	9,524	2,370	366	91
10	23	8,806	2,205	383	96
11	25	9,813	2,402	393	96
12	24	8,862	2,184	369	91
1	24	8,037	1,948	335	81
2	24	8,665	2,089	361	87
3	27	9,609	2,375	356	88
計	304	110,417	27,082	363	89
移動図書館		23,105	3,741	(稼働日数206日)	

※10月は整理期間のため開館日減少

○花矢図書館 入館者数 6,042 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1 日平均	
		冊 数	人 数	冊 数	人 数
4	25	1,422	363	57	15
5	24	1,458	363	61	15
6	26	1,537	398	59	15
7	25	1,515	390	61	16
8	25	1,426	369	57	15
9	25	1,369	361	55	14
10	27	1,556	403	58	15
11	23	1,371	330	60	14
12	24	1,638	388	68	16
1	24	1,176	302	49	13
2	22	1,305	331	59	15
3	27	1,241	319	46	12
計	297	17,014	4,317	57	15

○比内図書館 入館者数 16,889 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1 日平均	
		冊 数	人 数	冊 数	人 数
4	25	3,551	782	142	31
5	24	3,359	684	140	29
6	26	3,497	780	135	30
7	25	3,539	821	142	33
8	25	3,768	846	151	34
9	25	3,568	796	143	32
10	27	3,509	812	130	30
11	23	3,197	751	139	33
12	24	3,513	744	146	31
1	24	2,974	661	124	28
2	22	3,339	730	152	33
3	27	3,848	841	143	31
計	297	41,662	9,248	140	31

○田代図書館 入館者数 6,606 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1 日平均	
		冊 数	人 数	冊 数	人 数
4	25	1,324	307	53	12
5	24	1,458	292	61	12
6	26	1,357	290	52	11
7	25	1,152	269	46	11
8	25	1,345	303	54	12
9	25	1,171	269	47	11
10	27	1,325	328	49	12
11	23	1,204	273	52	12
12	24	1,270	280	53	12
1	24	1,096	254	46	11
2	22	1,146	275	52	13
3	27	1,231	321	46	12
計	297	15,079	3,461	51	12

※有効登録者数は 4 館 25,709 人

【6】 少年相談センター

【基本方針】

社会環境の変化に伴い多様化・複雑化している青少年の問題行動・動向を的確に把握し、青少年自身や保護者・関係者からの相談に対応するとともに、青少年健全育成の拠点となって街頭指導や巡回を実施し、非行防止や環境浄化に努めることにより、青少年の健全育成を図ります。

【活動状況】

現在、相談専門員兼所長 1 名、少年指導・相談員 1 名、少年指導員 28 名で相談業務及び街頭指導・巡回活動を行っています。

令和 3 年度は、延べ 195 人の少年指導員により街頭指導・巡回活動等を行いました。また相談業務は来所、電話を合わせて 287 件あり、関係機関と連携を図りながら対応することにより、少年の健全育成及び非行防止に努めています。

【7】児童育成施設

1. 桂城児童センター

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、運動ぎらいまたは体力に自信の無い子などを指導する「学童スポーツクラブ」、親子で遊びを通じて体力づくり、仲間づくりを目的とする「幼児スポーツクラブ」を開催しています。

その他、任意利用者による習字クラブや、母親を対象とした育児サークルなどを行っています。

(R3)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
幼児スポーツ(keiリズム☆クラブ)	1人	6組	15回	53人	1歳児～3歳児と親
学童スポーツ	1人	33人	51回	758人	1年～2年
児童仲良し	4人	82人	290回	17,500人	1年～6年
任意利用			89回	939人	習字サークル・体操・ 幼児通級指導教室
合 計				19,250人	

2. 釈迦内児童センター

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、運動ぎらいまたは体力に自信の無い子などを指導する「学童スポーツクラブ」、親子で遊びを通じて体力づくり、仲間づくりを目的とする「幼児スポーツクラブ」を開催しています。

その他、地域住民にセンターを開放し、利用団体によるクラブを通じた子育てを目指しています。

(R3)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
幼児スポーツ(パンダ)	1人	8組	24回	122人	1歳半～就園前の子と親
学童スポーツ	1人	32人	74回	751人	1年～3年
児童仲良し	4人	76人	290回	14,090人	1年～6年
任意利用			22回	72人	書道、卓球サークル
合 計				15,035人	

3. 城西児童センター（城西小学校併設）

【活動内容】

城西児童センターは、学校と地域が連携した児童育成を進めるための施設として小学校に併設され運営されています。

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、運動ぎらいまたは体力に自信の無い子などを指導する「学童スポーツクラブ」、親子で遊びを通じて体力づくり、仲間づくりを目的とする「幼児スポーツクラブ」を開催しています。

また、学校とセンターを地域住民に開放し、利用団体によるクラブを通じた子育てを目指しています。

(R3)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
幼児スポーツ(パッパ☆クラブ)	1人	4組	29回	159人	1歳児～3歳児と親
学童スポーツ	1人	70人	65回	776人	1年～3年
児童仲良し	4人	72人	281回	12,465人	1年～6年
任意利用			82回	658人	育児サークル、ユニカール他
合 計				14,058人	

4. 有浦児童会館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。平成19年11月に改築し、夜間や休日に軽スポーツのための貸館業務を行っています。

(R3)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	4人	83人	286回	15,130人	
一般利用			204回	2,721人	貸館
合 計				17,851人	

5. 有浦児童会館分館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。

(R3)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	4人	71人	288回	12,716人	
合 計				12,716人	

6. 城南児童会館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。

(R3)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	5人	72人	286回	11,941人	
一般利用			15回	287人	幼児通級指導教室
合 計				12,228人	

5. 社会教育関係団体とその活動

(1) 子ども会育成連合会

28単位子ども会と1,000名の会員で組織され、子どもの健全な育成を目的に、世話人育成者研修会、子ども会リーダー養成野外研修、子ども会大会や子ども会ニュース発行などを行っています。

(2) 大館市連合婦人会

会員約2,054人で組織され、令和4年度は組織の強化運動、健康促進対策、環境保全・公害対策、消費者教育・消費者運動の強化や明るい社会づくり運動などを重点目標として掲げ、各地区の敬老会など、市のイベントへの協力を展開しています。

(3) PTA連絡協議会

小学校17校及び中学校8校のPTA相互の連絡調整と交流・研修を図り、児童・生徒の健全育成と学校教育振興に協力する目的で組織しています。

(4) 青少年問題協議会

青少年健全育成のための総合的な施策を樹立するために必要な事項を調査・審議し、その施策の適切な実施のために関係機関と連携調整を図ることを目的として設置された機関であり、関係行政機関の職員、関係団体の代表者及び学識経験者により組織されています。

(5) 青少年育成大館市民会議

青少年の健全な心身の育成と、安心で安全な環境づくりのために、学校や企業、町内会等、地域に密着した幅広い団体で組織された団体であり、シンポジウムや啓発運動など、青少年の健全育成を図るための諸活動を展開しています。

(6) 大館市芸術文化連盟

大館市の芸術文化の創作発展に寄与している24団体が加入し、芸術文化祭のいけ花展・茶会・短歌会・俳句会などを開催し、芸術文化の向上と参画団体の育成に努めています。

(7) 大館市田代地区芸術文化協会

10団体で構成しており、田代地域の住民を対象に芸術文化祭を開催し、地域住民の芸術作品展示や芸能発表及び郷土の伝統芸能の保存、芸術文化の高揚、実践発表の機会を提供しながら、組織団体の育成に努めています。

(8) 比内町芸術文化協会

7団体と17名の個人会員で組織しており、比内地域の芸術文化祭の開催、会報誌「芸林比内」の発刊、文化講演会の開催など文化のかおり高い町づくりを目指し、芸術文化の振興と組織団体の育成に努めています。

(9) 大館地区少年保護育成委員会、比内地区少年保護育成委員会

少年の非行防止及び犯罪被害から守るためのボランティア活動を行う委員で組織された団体であり、警察署と連携して街頭指導や非行防止に関わる啓発活動等を行うことにより、青少年の健全育成に努めています。

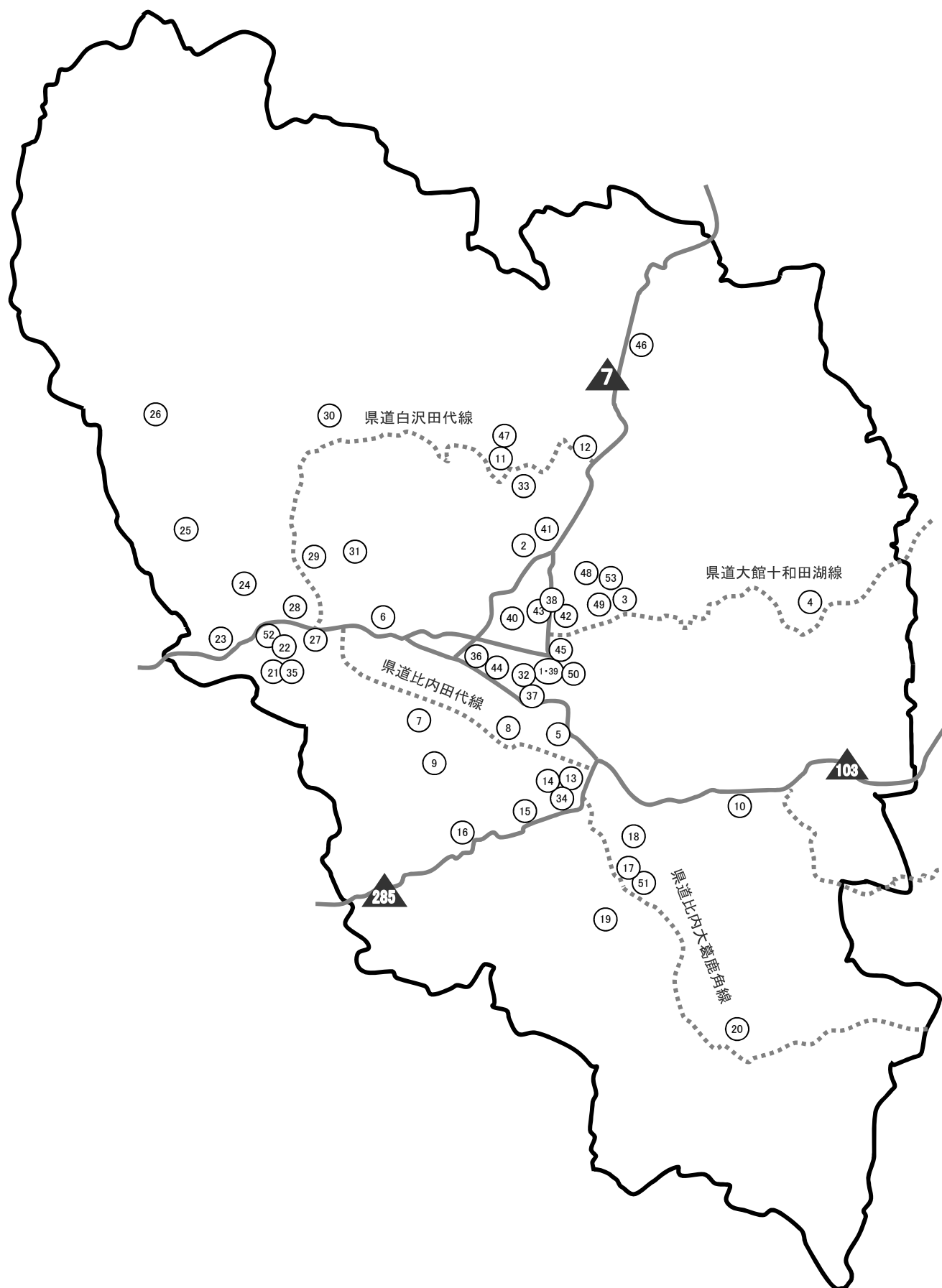
(10) おおだてロボット人材育成コンソーシアム

ロボットコンテストを通じてものづくりの楽しさを子どもたちに伝え、将来故郷で活躍する人材を育成することを目的として組織しています。

(11) 大館市合同マーチングバンド

地域のイベント等に参加しマーチングの魅力を伝えるとともに、他団体との交流を積極的に行い、団員の音楽水準の向上を図り、地域の音楽活動の発展に努めています。

6. 社会教育施設所在地



番号	施 設 名	所 在 地
①	中央公民館	大館市字桜町南 45-1
②	釈迦内公民館	大館市釈迦内字上大留 6
③	長木公民館	大館市上代野字八幡岱 24-1
④	長木公民館 雪沢分館	大館市雪沢字上谷地 55-3
⑤	上川沿公民館	大館市池内字大出 135
⑥	下川沿公民館	大館市川口字隼人岱 108-55
⑦	真中公民館	大館市出川字上野 30
⑧	二井田公民館	大館市二井田字高村 1
⑨	二井田公民館 麓西分館	大館市比内前田字下前田 8
⑩	十二所公民館	大館市十二所字元館 1-1
⑪	花岡公民館	大館市花岡町字前田 102-3
⑫	矢立公民館	大館市白沢字白沢 1149
⑬	比内公民館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
⑭	比内公民館 扇田分館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
⑮	比内公民館 西館分館	大館市比内町達子字曲谷地 62-7
⑯	比内公民館 八木橋分館	大館市比内町八木橋字畠沢岱 16
⑰	比内公民館 東館分館	大館市比内町独鈷字小館下 18-2
⑱	比内公民館 味噌内分館	大館市比内町味噌内字鬼ヶ沢 10
⑲	比内公民館 三岳分館	大館市比内町中野字上客路橋 17
⑳	比内公民館 大葛分館	大館市比内町大葛字大葛家後 74-3

番号	施 設 名	所 在 地
㉑	田代公民館	大館市早口字上野 43-1
㉒	田代公民館 早口一分館	大館市早口字上野 55-8
㉓	田代公民館 早口二分館	大館市長坂字宝田岱 33-35
㉔	田代公民館 本郷分館	大館市早口字上屋敷 66-2
㉕	田代公民館 岩野目分館	大館市早口字岩野目 22
㉖	田代公民館 大野分館	大館市早口字大野 1-4
㉗	田代公民館 岩瀬分館	大館市岩瀬字大柳 95-6
㉘	田代公民館 谷地の平分館	大館市早口字深沢岱 40-4
㉙	田代公民館 赤川分館	大館市岩瀬字赤川 20
㉚	田代公民館 越山分館	大館市岩瀬字越山向岱 77-5
㉛	田代公民館 山田分館	大館市山田字寺下 42
㉜	栗盛記念図書館	大館市字谷地町 13
㉝	花矢図書館	大館市花岡町字前田 162-3
㉞	比内図書館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
㉟	田代図書館	大館市早口字上野 43-1
㊱	大館市民交流センター	大館市根下戸新町 6-13
㊲	松下村塾	大館市字谷地町 12
㊳	北地区コミュニティセンター	大館市有浦一丁目 8-15
㊴	少年相談センター	大館市字桜町南 45-1
㊵	桂城児童センター	大館市水門町 1-5
㊶	釈迦内児童センター	大館市釈迦内字相染台 24
㊷	有浦児童会館	大館市有浦四丁目 6-43
㊸	有浦児童会館分館	大館市有浦一丁目 8-33
㊹	城西児童センター	大館市城西町 8-1
㊺	城南児童会館	大館市字桜町 7-2
㊻	長走風穴館	大館市長走字長走 362-6
㊼	鳥潟会館	大館市花岡町字根井下 156
㊽	大館郷土博物館	大館市釈迦内字獅子ヶ森 1
㊾	ニプロハチ公ドーム	大館市上代野字稲荷台 1-1
㊿	ほくしか鹿鳴ホール	大館市字桜町南 45-1
51	民舞伝習館	大館市比内町独鈷字大日堂前 10
52	小畑勇二郎記念館	大館市早口字堤沢 15-37
53	秋田三鶏記念館	大館市釈迦内字獅子ヶ森 1

第6編 文化財・芸術文化

1. 文化財保護の概要

本市には、国指定文化財7件、県指定文化財18件、市指定文化財45件、国登録文化財1件の計71件の指定、登録文化財があります。

国指定のうち6件は天然記念物であり、大館が誇る自然の宝です。また、国指定重要文化財の八幡神社、国登録文化財の桜櫓館や、県指定の矢石館遺跡、矢立廃寺跡、北鹿ハリストス正教会聖堂、鳥潟会館など数多い文化財は、先人の知恵と技と努力の証であり、大館の歴史を語る貴重な資料です。

未指定の文物や伝え残されたものを含めて、これらの保護と保存を図り将来に継承することは、現代に生きる我々に託された重大な使命であります。

歴史文化課は、これら文化財の調査、研究、保存、展示、啓発などを通じ、市民の学習意欲に応えるよう運営機能の充実に努めるとともに、大館の歴史と文化を正しく継承し、大館の地に生きた先人の努力を顕彰し、認識してもらうため、文化財の積極的な保護と保存、学習機会の提供に努めています。



大館八幡神社・正八幡宮(手前)、若宮八幡宮(奥)



芝谷地湿原植物群落・モウセンゴケ

2. 芸術文化振興の概要

生活にゆとりや豊かさが求められる時代となり、市民の芸術文化に対する関心と創造意欲はますます高まってきています。

芸術文化は、文化的な市民生活に欠かせないものであり、行政の役割として、芸術文化活動への支援と、それを長期的に継続発展できるよう、基盤整備することが望まれています。

また、芸術文化が気軽に受け入れられるよう、幼少時から鑑賞教育、普及活動等を行い、誰もが身近に感じられる親しみやすいものにする必要があります。

今後は、地域に根ざした創造活動を活発化するとともに、活動団体の育成を図り、伝統と創造が調和する地域づくりを推進していきます。



福田豊四郎作「闘犬の日」

3. 各施設の概要

(1) 大館郷土博物館

大館の自然環境の中で、先人たちがいかに歩んできたのかということを、自然と産業、歴史、民俗、美術工芸の分野から紹介するとともに、そこから生まれてきた風土、文化を多くのかたに伝え、理解していただくために、平成8年4月25日に開館しました。

平成9年には、子どもたちの科学への興味を育む施設として、「こども科学室」を開設しました。同時に大館少年少女発明クラブを博物館活動の一環として運営しています。

平成12年4月25日には「曲げわっぱ展示室」を開設し、曲げわっぱをはじめとする工芸品を展示しています。

また、平成30年には耐震補強工事を実施しました。

【所在地】 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地 TEL 0186 - 43 - 7133

【運営方針】

市民が生涯学習施設として博物館を利用できるよう、施設の整備・充実を図ります。また、文化財保護思想の普及と、文化財の保護と活用に努めます。

【重点施策】

- 1 施設の整備・充実を図る。
 - ア 郷土に関する調査・研究と資料収集を促進し、展示内容を充実する。
 - イ 特別展示室を有効活用するため、企画展示を実施する。
- 2 文化財の保護及び利活用を促進する。
 - ア 天然記念物整備活用事業の促進と施設等の利活用体制を整備する。
 - イ 文化財の調査と紹介を図るとともに新たな資料の収集に努める。

【施設概要】 敷地総面積 30,345.00 m²
建物延床面積 6,015.90 m²
〔 展示館 1,453.95 m²、美術工芸展示室 456.22 m²、収蔵庫 1,233.23 m²、
貴重品収蔵庫 74.38 m²、こども科学室 610.56 m²、曲げわっぱ展示室 162.00 m² 〕
駐車場 50台

【開館】

- 1 開館時間 午前9時00分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
- 2 休館日 月曜日（この日が祝・休日の場合は翌日）
年末年始

【令和3年度利用状況】

- 1 開館日数 308日
- 2 入館者数 一般 2,245人
高校・大学生 32人
中学生以下 1,046人
計 3,323人

(2) 鳥潟会館

鳥潟家は慶長年間から400年余の歴史をもつ旧家であり、花岡村で代々肝煎を務めてきました。8,000㎡を超える広大な敷地に建つ建物及び庭園は、元京都帝国大学名誉教授（医学部長・日本外科学会会長）の鳥潟隆三博士によって京風の意匠が取り入れられ、現在のかたちに整備されたものです。

主屋は昭和11年に増改築上棟式が行われ、新座敷、離れ、二階茶室などに京風の意匠が取り入れられました。旧屋部分は、ちょうな削りの柱が多数見られるなど改築前の旧材がいたるところに使用されているのが特徴です。庭園は同時期に京都の名門庭師、植治7代目小川治兵衛の門弟であった粕谷幸作が作庭しています。回遊式庭園であり、池を中心とした地割がよく計画され、石組にも京風の手法が見られます。各地から吟味された良材が取り寄せられ、幅3mを超える鞍馬石や直径1mを超える伽藍石などが使用されています。表門や中門などの建造物には、京都を中心に活躍した成行兼太郎が大工棟梁として携わっています。

昭和26年に当時の花岡町へ寄贈され「鳥潟会館」として一般の使用に開放、昭和54年9月「郷土資料庫」を併設しました。

平成23年3月には、鳥潟会館（旧鳥潟家住宅）の建造物8棟が秋田県指定文化財（有形文化財）に、庭園が秋田県指定名勝にそれぞれ指定されました。

【所在地】 大館市花岡町字根井下156番地 TEL 0186-46-1009

【施設概要】 敷地面積 8,191.08㎡
建物面積 791.40㎡

〔 主屋（大広間、和室仏間、台所、茶室(2F)、離れ化粧室 ほか）、
四阿、茶室、茶室待合、社殿、表門、中門、郷土資料庫（土蔵）、庭園 〕

【収容人員】 約80名

【開 館】

- 1 開館時間 午前9時～午後5時（11月～3月は午前9時～午後4時）
- 2 休 館 日 毎週月曜日（この日が祝・休日の場合は翌日）
年末年始

【令和3年度利用状況】 3,651人



(3) 長走風穴館

長走風穴は、国内有数の風穴の不思議を体感できるエコミュージアムです。館内には、展示パネル、ミニシアター、情報コーナーなどがあり、夏季は風穴から引き込んだ天然の冷気で全館を冷房しています。3階から屋外の散策路に出ると、高山植物群落（国指定天然記念物）や風穴倉庫（跡）を見学できます。

平成7年度から3カ年で文化庁の天然記念物整備活用補助事業で建設し、平成10年4月3日から公開しています。平成29年度には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業費補助金で、建物の改修、展示替え（多言語化）を行い、平成30年4月1日にリニューアルオープンしました。

【所在地】 大館市長走字長走362番地6 TEL 0186-51-2005

【施設概要】 敷地面積 2,057.19 m²
建物面積 404.55 m²
風穴倉庫(見学用)85.12 m²、風のふしぎ(廊下)45.18 m²
一階展示室 173.34 m²、中二階情報コーナー67.32 m²
二階展示室 33.59 m²
建築構造 木造一部鉄筋コンクリート2階建

【開館】

- 1 開館期間 4月1日～11月30日（冬季は閉鎖）
- 2 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 3 休館日 毎週月曜日（この日が祝・休日の場合は翌日）
ただし、6～8月は休館日なし

【入館料】 無料

【令和3年度利用状況】 6,775人



(4) 民舞伝習館

民舞伝習館は、農村の伝統、郷土芸能、民俗資料の保存伝習を目的として昭和55年に設置しました。1階展示室には、かつてこの地を治めた浅利氏にまつわる資料や、隣接する大日神社に奉納された貴重な文化財を展示しています。中でも十狐（とっこ）城主浅利則頼公が愛用したと言われる「琵琶」（市指定文化財）や大日神社に奉納された県内最古ともいわれる「絵馬額」（市指定文化財）などが目を引きます。2階は、地元の郷土芸能である「独鈷囃子」（市指定無形文化財）の伝習の場となっています。

周辺一帯は、多くの史跡が残っていて、この施設は散策路のビジターセンター的な役割を果たしています。

【所在地】 大館市比内町独鈷字大日堂前10番地 TEL 0186 - 56 - 2312

【施設概要】 敷地面積 660.00 m²
建物面積 354.89 m²
(事務室、資料室、研修室（舞台付）、控室、納戸)

【開館】

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 1 開館時間 | 資料室 午前9時～午後4時
研修室 午前9時～午後9時 |
| 2 休館日 | 月曜日（この日が祝・休日の場合は翌日）、年末年始 |

【令和3年度利用状況】 192人



(5) 小畑勇二郎記念館

小畑勇二郎（1906～1982）は当時の早口村に生まれ、秋田中学卒業後、代用教員、早口村役場吏員を経て秋田県庁に入庁しました。税・財務畑で活躍後、42歳で民生部長に抜擢され、昭和26年には知事選立候補のため退職し、秋田市助役を経て昭和30年から連続6期秋田県知事を務めました。

八郎潟干拓、稲の早期栽培など抜本的な農業改革と振興策に多大な功績があったほか、秋田大学医学部の誘致、脳血管研究センターの開設、全国に先駆けて生涯学習の重要性を提唱するなど多方面に業績を残しています。

本記念館は、昭和59年、有志が寄付を募って建設したのち、当時の田代町に寄贈したもので、勇二郎の生い立ち、業績、趣味など、勇二郎活躍の背景を理解するうえで貴重な展示施設となっています。

【所在地】 大館市早口字堤沢15番地37 TEL 0186-54-2230

【施設概要】 敷地面積 920.14 m²
建物面積 279.54 m²
(展示室、ホール、研修室、事務室)
建物構造 木造一部二階建て銅板葺

【管理運営】 指定管理者 株式会社友愛ビルサービス
(指定管理期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日)

【開館】
1 開館時間 午前9時～午後4時30分
2 休館日 月曜日（この日が祝・休日の場合は翌日）、年末年始

【令和3年度利用状況】 186人



(6) 秋田三鶏記念館

秋田三鶏記念館は、国指定天然記念物声良鶏、比内鶏及び県指定天然記念物金八鶏(以上を総称して秋田三鶏)の保護と継承を目的として、平成22年に設置しました。

秋田三鶏は秋田県の県北、特に米代川中流域の大館地方で古くから飼われ、親しまれてきた家禽です。この秋田三鶏の増殖を図り、天然記念物としての血統を守り、多くの人々に秋田三鶏を知ってもらうために建設したものです。

記念館では、3月から7月にかけて孵化作業を行い、秋田三鶏の増殖を図るとともに、成鶏を飼育、一般公開し、各種資料の展示も行っています。

【所在地】 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地(大館郷土博物館隣)
TEL 0186 - 43 - 7133(大館郷土博物館)

【施設概要】 敷地面積 159.74 m²
建物面積 142.43 m²
(作業室、^ふ卵室、育雛室、飼育室)



【開館】
1 開館期間 4月1日から11月30日まで
(冬季は閉館)
2 開館時間 午前9時から午後4時30分まで
3 休館日 月曜日(この日が祝・休日の場合は翌日)
4 見学料 無料

【令和3年度利用状況】 1,012人

(7) 比内町郷土民俗資料館

秋田県内でも有数の穀倉地帯である比内地域にふさわしく、農具(万石・千歯こき・粃すり器・唐箕)など330点余りが展示されています。機械化が進んだ現在の農業と比較し、当時の農業がいかに重労働であったかが偲ばれます。民家コーナーには囲炉裏を囲む老夫婦の彫刻を配し、てどり・飯台・水がめ・タンス・衣類などを展示し、昔の農家を復元しています。

昭和55年4月1日開館、平成21年4月1日比内公民館内移転、リニューアルオープン。

【所在地】 大館市比内町扇田字庚申岱8番地
(大館市立比内公民館内 TEL0186-43-7141)

【施設概要】 施設面積 142.43m²(展示室)

【開館】
1 開館時間 午前9時から午後5時まで
2 休館日 第3月曜日、年末年始



(8) 大館市民文化会館

昭和57年の開館以来、文化芸術を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献することを目指してきた大館市民文化会館は、令和元年度にネーミングライツ（命名権）を導入し「ほくしか鹿鳴ホール」と愛称が付けられました。

①所在地 大館市字桜町南45番地1 TEL 0186-49-7066

②運営方針

文化芸術を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献するため、次の4項目に重点を置いて市民文化会館の管理運営にあたります。

- 1 多彩で良質な鑑賞機会と参加機会を市民に提供し、文化芸術の普及と振興を図ること。
- 2 子どもたちへの積極的な働きかけにより、次世代の文化の担い手の育成を図ること。
- 3 多面的な市民との関わりを通じて、文化芸術による社会的包摂を推進すること。
- 4 会館内外の機能の充実を図り、利用者の利便と快適性の向上を図ること。

③本年度の目標

- 1 良質な鑑賞機会を提供する。

費用対効果を考慮しながらも、可能な限り多くの良質な鑑賞プログラムを提供する。このため、主催事業以外にも共催等による公演誘致に努め、各種公的助成の活用を図る。

- 2 市民との連携・協力を努めるとともに、市民の学習・参加機会を提供する。

地域文化振興に資するため、市民参加型事業や文化芸術環境づくり事業を推進する。本年度は「松田鉄雄ヴァイオリンクラブ」を立ち上げ、音楽文化の普及を図ると共に、ダンスや楽器等各種ワークショップや「ピアノマラソン」などの市民参加型事業を開催し、市民の文化芸術活動を支援する。

- 3 情報発信の最大化を追求する。

「桜町通信（さくらまちだより）」などの独自のツールをはじめ、インターネット、各種メディア等による広域的な情報発信を行う。また、友の会会員や公演時の来場者アンケートなどにより、市民からの不断の意見聴取とニーズの把握に努める。

- 4 施設等の整備を推進する。

大館市との連携協力のもと施設・設備等の整備に努め、安全確保と快適な利用空間づくりを図る。またコロナ禍における利用者ニーズや利用形態の変化に対応し、安心安全な施設づくりに努める。



『もくもくひろば～木のおもちゃであそぼう～』（令和3年8月）

④施設の概要

敷地面積	建物面積	規		模
		室名	面積	備考
18,357.00 m ²	6,381.70 m ²	大ホール	舞台 560 m ²	1,206 席
			客席 760 m ²	(一般席 1,198 席)
			ホワイエ 487 m ²	(母子席 4 席)
				(車椅子席 4 席)
		中ホール	舞台 150 m ²	416 席
			客席 278 m ²	(一般席 414 席)
			ホワイエ 121 m ²	(車椅子席 2 席)
		第1会議室	65 m ²	(洋室) 定員 20 名
		第2会議室	50 m ² (30 畳)	(和室) 定員 36 名
		第1練習室	56 m ²	(洋室) 定員 24 名
		第2練習室	56 m ²	(洋室) 定員 24 名
		第3練習室	68 m ²	(洋室) 定員 42 名
		リハーサル室	93 m ²	
		展示室	215 m ² (65 坪)	
		その他	3,422 m ²	
駐車場		駐車台数 約 220 台		

⑤利用状況 (単位：人)

区 分 \ 年 度	H29	H30	R1	R2	R3
大ホール	43,147	43,261	43,615	13,523	25,196
中ホール	17,994	18,505	14,888	5,185	9,969
展 示 室	5,012	6,914	6,017	4,479	13,139
そ の 他	13,676	12,491	12,666	6,546	8,675
合 計	79,829	81,171	77,186	29,733	56,979

⑥指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団

ネーミングライツ・パートナー：株式会社 北鹿



『大野雄二&ルパンティックシックス』(令和3年11月)

4. 指定文化財一覧

指定 区分	種 別	名 称	指定年月日	所 在 地	管 理 者
国	建造物	八幡神社 2 棟	平 2. 3.19	大館市	(宗)八幡神社
	天然記念物	長走風穴高山植物群 落	第1次指定 大15. 2.24 第2次指定 昭 6.10.23	大館市長走	大館市
		芝谷地湿原植物群落	昭11. 9. 3	大館市釈迦内	大館市
		秋田犬	昭 6. 7.31		秋田県
		ザリガニ生息地	昭 9. 1.22	大館市	大館市
		声良鶏	昭12.12.21		秋田県
		比内鶏	昭17. 7.21		秋田県
県	建造物	北鹿ハリストス正教会聖堂 1 棟	昭41. 3.22	大館市曲田	(宗)日本ハリストス正教会教団
		鳥潟会館（旧鳥潟家住宅） 8 棟	平23. 3.22	大館市花岡町	大館市
	絵 画	絹本阿弥陀来迎図	昭35.12.17	大館市比内町	個人
	工 芸	太刀 無銘伝一文字成宗	昭40. 2.23	大館郷土博物館	大館市
		刀 銘大和太掾藤原正則	昭46. 7.17	大館市十二所	個人
		脇差 銘粟田口一竿子入道忠綱彫同作	昭30. 1.24	大館市	個人
		小柄1本 金銀地杢目鍛 銘 正阿弥伝兵衛	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人
		鐔1枚 竹林猛虎の図 銘 秋田住重具	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人
		刀 無銘 伝直江志津	昭40. 2.23	大館市	個人
		菅江真澄著作 46点	昭33. 2.13	市立栗盛記念図書館	大館市
	書跡・典籍	手柄岡持自筆作品・関係資料22点のうち3点	平30. 3.16		
	考古資料	鋒形石器 2 個	平 5. 4. 9	大館郷土博物館	大館市
		塚ノ下遺跡出土土偶 1 点	平23. 3.22	大館郷土博物館	大館市
	史 跡	矢石館遺跡	昭28. 3.10	大館市早口	個人
		矢立廃寺跡	昭34. 1. 7	大館市白沢	大館市
		安藤昌益墓	平24. 3.23	大館市二井田	個人
	名 勝	鳥潟会館（旧鳥潟家住宅）庭園	平23. 3.22	大館市花岡町	大館市
	天然記念物	金八鶏	昭34. 1. 7		大館市
市	建造物	武家門	昭51. 1.20	大館市比内町	個人
	絵 画	絵馬額 2 枚	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		観経曼荼羅 1 幅	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)正覚寺
		釈迦涅槃絵	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)正覚寺
		花鳥 1 幅 佐竹義文	昭54. 7.20	大館市比内町	個人
		花鳥 双幅 戸村後草園	昭54. 7.20	大館市比内町	個人
		聖像画（イコン） 19点	平 3. 9. 3	大館市曲田	(宗)北鹿ハリストス正教会
		釈迦涅槃図 紙本彩色 1 軸	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺
	彫 刻	大日如来像 木造 1 軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		十一面千手観音菩薩像 木造 1軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		四天王像 木造 4 軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		不動尊像 木造 1 軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		毘沙門十王像 木造 10 軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		延命地藏菩薩 木造 1 軀	昭59.12.10	大館市	(宗)玉林寺
		虚空蔵菩薩 青銅造 1 軀	昭59.12.10	大館市花岡町	繫沢集落
		放光王地藏菩薩座像 青銅造1軀	平13. 3. 5	大館市	(宗)一心院
	工 芸	脇差 銘出羽住忠秀	昭52. 3.22	大館市	個人
		刀 銘来国俊	昭52. 3.22	大館市	個人
		太刀 銘京都住人菅原国長	昭52. 3.22	大館市十二所	個人
		琵琶 1 基	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)大日神社
		鰐口 1 口	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)大日神社
		赤絵茶壺 1 個 長康亭道三	昭54. 7.20	大館市比内町	個人
		刀 銘出羽住正近	昭55. 3. 4	大館市	個人

指定 区分	種 別	名 称	指定年月日	所 在 地	管 理 者
市	書跡・典籍	十二所土族屋敷絵図 1 軸	昭54. 3.29	大館郷土博物館	大館市
		鸞斎書「六曲一双屏風」1 双	昭56. 3.30	大館郷土博物館	大館市
		扁額「十二天」 1 面	平 3. 9. 3	大館市十二所	十二所神明社
		真崎文庫 2, 0 7 8 点	平17. 9. 1	市立栗盛記念図書館	大館市
	考古資料	大型ナイフ形石器 6 個	平 4. 6.15	大館郷土博物館	大館市
		壺（珠洲焼）3 個	平 4. 6.15	大館郷土博物館	大館市
	民俗芸能	山田獅子踊り	平 6. 5.31	大館市山田	山田獅子踊り保存会
		蛭沢獅子踊り	平 6. 5.31	大館市岩瀬	蛭沢獅子踊り保存会
		代野番楽	平 6. 5.31	大館市岩瀬	代野番楽保存会
		田代岳の岳参り作占い行事	平 7. 3.17	大館市田代岳	田代山神社
		独鈷囃子	平12.12. 6	大館市比内町	独鈷囃子保存会
		大館囃子	平13. 8.29	大館市	大館ばやし保存会
	史 跡	道標石 1 基 達子森下	昭53. 6.15	大館市比内町	個人
		道標石 1 基 川久保	昭53. 6.15	大館市比内町	個人
		道標石 1 基 味噌内	昭53. 6.15	大館市比内町	個人
		板沢一里塚 1 対	平元. 3. 3	大館市板沢	大館市
		けら木森一里塚 1 基	平元. 3. 3	大館市二井田	大館市
		十二所城代茂木家墓地	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺
		長坂一里塚	平15. 7. 7	大館市長坂	個人
		松峰山信仰遺跡群	平21. 5. 1	大館市松峰	松峰部落会外
	天然記念物	出川の櫓	昭53. 3.13	大館市出川	出川集落
		御神木の櫓、イチイ	平 7. 3.17	大館市岩瀬	大館市

５．登録文化財

登録 区分	種 別	名 称	登録年月日	所 在 地	管 理 者
国	建造物	桜櫓館（旧桜場文蔵邸）	平11. 7. 8	大館市	大館市

６．名園・名木一覧

庭園の部

番号	指 定 園	所 在	所有者等
1	宗福寺庭園（雨香庭）	大館市豊町1－4	(宗)宗福寺
2	温泉寺庭園	大館市二井田字贅ノ里3 3	(宗)温泉寺
3	高橋家庭園	大館市字谷地町 8	個人

樹木の部

番号	指 定 樹	所 在	所有者等
1	浄応寺の枝垂桜	大館市字大館 5	(宗)浄応寺
2	有浦観音堂の銀杏	大館市有浦四丁目1 3 1－4	(宗)大館神明社
3	信正寺の銀杏	大館市花岡町字七ツ館 2 5	(宗)信正寺
4	大国主神社の杉	大館市花岡町字繫沢	繫沢集落
5	別所大日神社の三本マツカの杉	大館市十二所字堂ヶ下	別所大日神社
6	吉成家の櫓	大館市十二所字上城 7	個人

7. 芸術文化、文化財保護関係団体

(1) 大館市芸術文化連盟

- ①目 的：芸術文化の興隆と拡大に努め、もって地方文化の振興に寄与する。
- ②事 業：芸術文化の普及振興
加盟団体の交流及び活動助成
各種芸術文化事業の開催
伝統芸術文化に関する調査研究
芸術文化に関する個人及び団体の表彰
- ③加入団体：24団体

(2) 公益社団法人 秋田犬保存会

- ①目 的：秋田犬の保護、育成、宣伝に努める。
- ②事 業：秋田犬に関する犬籍、犬舎号の登録及び血統書の発行
秋田犬に関する全国展、総支部展、支部展、観賞会、研修会
会報「秋田犬」の発行
観光行事等への参加
- ③会員数：3,052人

(3) 大館市文化財保護協会

- ①目 的：大館市内にある文化財の保護活用の健全な振興をはかるとともに、文化財、歴史資料の調査研究を行い、もって市民の文化的向上に資する。
- ②事 業：文化財の保護顕彰に関すること
文化財及び資料の調査研究
資料の作成並びに頒布、紹介
講演会、研修会、文化財展、現地見学等の開催
- ③会員数：32人

(4) 秋田県声良鶏比内鶏金八鶏保存会

- ①目 的：秋田三鶏の保護、育成、宣伝に努める。
- ②事 業：秋田三鶏の種の保存、育雛
展示会、謡い合わせ会の開催
- ③会員数：21人

(5) 大館市郷土芸能保存協会

- ①目 的：古くから伝わる芸能の保存育成について、関係団体機関が相互緊密な連絡を保ち、各保存会の振興を図り市の芸能文化並びに観光発展に寄与する。
- ②事 業：組織団体の連絡調整、演技後継者の育成指導、行事計画
- ③加入団体：15団体

第7編 資 料

各種委員名簿

1. 大館市生涯学習推進協議会委員

(任期2年：令和3年7月1日～令和5年6月30日)

職 名	氏 名	役職又は団体、機関名
会 長	阿 部 之 義	大館市社会教育委員の会委員長
副会長	山 城 久 和	大館市民交流センター運営委員会会長
委 員	嶋 田 恵 子	J Aあきた北女性部部長
	後 藤 康 孝	秋田職業能力開発短期大学校校長
	北 林 孝 男	大館市校長会（大館市立早口小学校校長）
	野 村 裕 子	大館市生涯学習奨励員協議会会長
	仲 谷 博 志	（株）北鹿新聞社編集局長
	平 川 幸 恵	大館市図書館協議会委員長
	佐 藤 久美子	大館市連合婦人会大葛支部婦人会会長
	中 田 峻	大館商工会議所青年部2022年度会長
	佐々木 真理子	（一財）大館市体育協会副会長
	阿 部 伊之助	大館市老人クラブ連合会副会長
	渡 邊 政 徳	秋田県高等学校長協会県北支部長（大館鳳鳴高等学校校長）
	佐々木 晃 吉	大館市小・中学校PTA連絡協議会会長
	月 居 裕 二	大館市私立学校協議会会長
	斉 藤 留美子	大館まちづくり協議会会長
	佐々木 長 則	秋田県立大館少年自然の家所長

2. 大館市生涯学習奨励員協議会委員

(任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

職 名	氏 名	奨 励 内 容	選出区域
会 長	野 村 裕 子	学校正課クラブ補助、絵手紙、点字、生け花	下川沿
副 会 長	山 内 ト シ	書道、合唱、公民館、地域行事協力	矢 立
	田 口 諒 也	音楽療法士	中 央
委 員	片 岡 真理子	英会話	中 央
	木 村 治	公民館、地域行事企画・協力	釈迦内
	岩 澤 トシ子	婦人会、地域行事企画・協力	釈迦内
	佐 藤 公 子	読書、地域活動、公民館事業協力	長 木
	本 多 留美子	パッチワーク、料理	上川沿
	五十嵐 芳 子	太極拳、婦人会、地域活動、公民館事業協力	真 中
	安 達 妙 子	絵手紙、手芸	二井田
	畠 山 直 美	フラワーデザイン、公民館、地域行事協力	十二所
	田 中 清 美	子ども会育成、公民館、地域行事企画・協力	花 岡
	高 松 順 子	コーラス、PTA後援活動、公民館事業協力	比 内
	大 野 美佐子	ハーモニカ演奏・指導、ピアノ演奏	比 内
	小笠原 哲 子	藤工芸、手芸、公民館事業協力	比 内
	米 澤 秀 則	スポーツの普及、公民館事業協力	比 内
	奈 良 一 博	スポーツの普及、公民館事業協力	比 内
	佐 藤 信 博	郷土史研究、音楽サークル指導	田 代
	柳 谷 公 子	小学校後援会、地域活動協力	田 代
	武 田 一 成	木・革・粘土を使った物作り	田 代
	田 村 美知子	揮花、書道、茶道	田 代
	工 藤 忍	書道、公民館事業協力	田 代

3. 大館市社会教育委員

(任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

職 名	氏 名	委 員 歴	備 考
委 員 長	阿 部 之 義	平成17年度～	
副委員長	小笠原 豊	平成17年度～	
委 員	山 城 久 和	令和3年6月～	
	佐 藤 潔	令和4年度～	
	虻 川 麻里子	令和3年度～	
	三 浦 功 達	令和3年度～	
	戸 田 由美子	平成29年度～	
	越 前 貞 久	平成27年度～	
	畠 山 教 子	令和3年度～	
	片 岡 精 子	平成29年度～	

4. 大館市青少年問題協議会委員

(任期2年：令和4年6月1日～令和6年5月31日)

職 名	氏 名	区 分	役職又は団体、機関名	連 絡 先
会 長	佐 藤 照 雄	関係団体	青少年育成大館市民会議会長	
副会長	阿 部 之 義	学識経験者	大館市社会教育委員の会委員長	
委 員	乳 井 希利子	関係行政機関職員	大館市福祉部子ども課課長	
	高 橋 秀 一		大館市少年相談センター相談専門員兼所長	42-0769 (少年相談センター)
	伊 東 篤	関係団体	大館地区少年保護育成委員会会長	
	小 林 匡 俊		比内地区少年保護育成委員会会長	
	木 村 健 一		大館市防犯協会会長	
	佐々木 晃 吉		大館市小・中学校PTA連絡協議会会長	
	田 中 清 美		大館市子ども会育成連合会会長	
	米 澤 秀 則		大館市スポーツ少年団副本部長	
	福 司 登志子	学識経験者	大館市校長会会長	42-3025 (城南小学校)
	佐 藤 博 昭		大館地区保護司会副会長兼理事犯罪予防活動部長	
	山 内 進		大館市民生委員児童委員協議会会長	
	村 上 清 秀		大館・北秋田地域生徒指導研究推進協議会副会長	50-6090 (大館国際情報学院)
	御 船 美喜雄		大館市小・中学校生徒指導協議会会長	49-5516 (南中学校)

5. 大館市少年相談センター運営協議会委員

(任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

職 名	氏 名	役職又は団体、機関名
会 長	佐 藤 照 雄	青少年育成大館市民会議会長
副会長	村 上 清 秀	大館・北秋田地域生徒指導研究推進協議会副会長
委 員	森 岡 広 子	大館警察署主幹兼生活安全課主任専門官
	米 澤 貴 子	大館市教育委員会教育研究所所長
	乳 井 希利子	大館市福祉部子ども課課長
	野 村 裕 子	大館地区少年保護育成委員会常任委員
	山 内 進	大館市民生委員児童委員協議会会長
	御 船 美喜雄	大館市小・中学校生徒指導協議会会長
	佐々木 晃 吉	大館市小・中学校PTA連絡協議会会長

6. 大館市図書館協議会委員

(任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

職 名	氏 名	職業又は団体、機関名	選出区域
委員長	平 川 幸 恵	利用者代表	大 館
副委員長	神 成 幸 忠	比内公民館長	比 内
委 員	椿 田 利 之	図書館後援会	大 館
	池 島 未 和	読み聞かせ会	大 館
	徳 富 一 真	大館国際情報学院高等学校教諭	大 館
	金 子 笑 子	利用者代表	花 矢
	浅 野 直 子	花岡小学校長	花 矢
	中 田 麻紀子	利用者代表	比 内
	川 崎 郁 子	扇田小学校長	比 内
	柴 田 恵里子	田代地区利用者代表	田 代
	高 橋 綾 子	読み聞かせ会	田 代

7. 大館市文化財保護審議会委員

(任期3年：令和3年4月1日～令和6年3月31日)

職 名	氏 名	役職又は団体、機関名
会 長	神 成 幸 忠	学識経験者（歴史・宗教）
副会長	小 泉 楨 子	学識経験者（写真）
委 員	澤 田 享	前 秋田公立美術大学教授（建造物）
	椿 田 利 之	学識経験者（歴史）
	板 橋 範 芳	学識経験者（考古・歴史）
	菊 地 卓 弥	学識経験者（生物）
	山 内 俊 隆	大館市郷土芸能保存協会（郷土芸能）
	桑 名 秀 明	僧侶（歴史・宗教）
	渡 部 均	秋田県立博物館 主査（兼）学芸主事（地質）
	加 藤 竜	秋田県立博物館 副主幹（考古）

8. 大館市文化財保護指導員

(任期3年：令和3年4月1日～令和6年3月31日)

氏 名	職業又は団体、機関名
畠 山 充 一	自営業
高 橋 昭 悦	無 職
鷹 嘴 勇 二	自営業

9. 大館郷土博物館運営審議会委員

(任期3年：令和2年4月1日～令和5年3月31日)

職名	氏名	職業又は団体、機関名	主な活動分野
会長	松村 六也	蒼杉会会長	美術
副会長	高橋 昭悦	学識経験者	考古
委員	伊藤 郁夫	大館自然の会代表	自然
	日沼 素子	大館陶芸愛好会	工芸・社会教育
	桑名 秀明	刀剣協会会員	歴史・宗教
	小笠原 涉	大館まちづくり協議会	社会教育

10. 秋田三鶏記念館運営審議会委員

(任期3年：令和4年3月1日～令和7年2月28日)

職名	氏名	役職又は団体、機関名
会長	高橋 善之	大館市教育委員会教育長
副会長	関口 宣男	秋田県声良鶏比内鶏金八鶏保存会会長
委員	木村 勝広	大館商工会議所専務理事
	畠山 喜満	大館市観光協会専務理事
	成田 伸一	あきた北農業協同組合常務理事

11. 大館市民交流センター（旧大館市女性センター）運営委員会委員

(任期2年：令和4年5月1日～令和6年4月30日)

職名	氏名	区分	職業又は団体、機関名
会長	山城 久和	学識経験者	大館商工会議所副会頭
副会長	加茂谷 鏡子	利用者代表	自主サークル連絡協議会会長
委員	畠山 貴久	学識経験者	あきた北農業協同組合代表理事専務
	柏崎 勇人	学校教育関係者	元小学校長
	野村 裕子	社会教育関係者	大館市生涯学習奨励員協議会会長
	乳井 紀子	利用者代表	サークル利用者代表

12. 公民館運営審議会委員

(任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

館名	氏 名	選出区分
中央公民館	小 林 久美子	学校教育関係者
	齋 藤 ひさ子	社会教育関係者
	信濃屋 仁	学識経験者
	成 田 京 子	社会教育関係者
	村 岡 昇	学識経験者
釈迦内公民館	佐々木 浩 司	社会教育関係者
	金 賢 隆	学識経験者
	日 景 美喜子	家庭教育関係者
	木 村 理 子	社会教育関係者
	斎 藤 義 信	社会教育関係者 (令和3年8月1日委嘱)
長木公民館	石 田 康市郎	社会教育関係者
	太 田 昇	社会教育関係者
	九 嶋 光 夫	社会教育関係者
	佐 藤 保 子	社会教育関係者
	山 内 カヅ子	家庭教育関係者
上川沿公民館	戸 田 由美子	社会教育関係者
	糸 屋 鋼 次	家庭教育関係者
	菅 原 鉄 蔵	社会教育関係者
	兜 森 鉄 広	社会教育関係者
	長 崎 詠 子	学識経験者
下川沿公民館	小 林 郁 子	学識経験者
	小 林 潤	社会教育関係者
	丸 岡 康 昭	家庭教育関係者
	池 田 ヤエ子	社会教育関係者
	桜 井 純 子	社会教育関係者
真中公民館	和 田 幸 子	家庭教育関係者
	虻 川 久 樹	社会教育関係者
	平 泉 政 志	学識経験者
	平 泉 久美子	家庭教育関係者
	佐 藤 伸 雄	社会教育関係者
二井田公民館	因 幡 正 勝	社会教育関係者
	中 村 勝 則	社会教育関係者
	齋 藤 敏 之	学校教育関係者
	安 達 美智子	家庭教育関係者
	小 畑 由美子	家庭教育関係者
十二所公民館	花 田 一 美	学識経験者
	前 田 友 恵	社会教育関係者
	千 葉 誠	社会教育関係者
	佐々木 昇	学識経験者
	松 中 寿 野	社会教育関係者
花岡公民館	田 中 清 美	社会教育関係者
	渡 邊 一 夫	学識経験者
	佐 藤 裕 子	家庭教育関係者
	工 藤 廣 子	学識経験者
	浅 利 健 一	学識経験者
矢立公民館	山 内 茂	家庭教育関係者
	畠 澤 洋 子	家庭教育関係者
	若 狭 孝 博	学識経験者
	若 木 由紀夫	学校教育関係者
	成 田 真紀子	社会教育関係者

館名	氏 名	選出区分
比内公民館	阿 部 重 信	家庭教育関係者
	小 貫 寧 子	家庭教育関係者
	藤 原 文 子	家庭教育関係者
	日 景 隆	学識経験者
	柴 田 政 範	学識経験者
	高 橋 コ ト	家庭教育関係者
	本 間 初	学識経験者
田代公民館	畠 山 雄 幸	家庭教育関係者
	大 川 美 紀	社会教育関係者
	高 坂 光 義	家庭教育関係者
	笹 木 勝 則	学識経験者
	佐 藤 一 史	学識経験者
	武 石 久美子	社会教育関係者
	柳 谷 公 子	学識経験者

大館市生涯学習推進要綱

（目的）

第1条 この要綱は、生涯学習都市『学びあいのまち大館』をめざし、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、もって生涯学習の一層の推進を図るために必要な事項を定めるものとする。

（本部）

第2条 市の生涯学習を効果的に推進するため、大館市生涯学習推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

2. 本部は、市民の意見や要望を取り入れ、市の各部・課の実施する学習的事業を総合的に連絡調整する。
3. 本部は、本部長、副本部長、参事及び幹事をもって構成する。
4. 本部長は、市長を充てる。
5. 副本部長は、副市長及び教育長を充てる。
6. 参事は、各部の部長を充てる。
7. 幹事及び推進担当者は、本部長が委嘱する。
8. 本部に、顧問を置くことができる。

（本部長等の職務）

第3条 本部長は、本部を統括する。

2. 副本部長は、本部長を助け、本部長に事故のあるときこれを代理する。
3. 参事は、生涯学習推進のため、総合的な施策について意見を述べるとともに、施策の総合調整に当たる。
4. 幹事は、生涯学習関連事業の連絡調整に当たる。

（推進協議会）

第4条 市民の意見、要望を反映させ、生涯学習の普及を図るため、生涯学習推進協議会（以下「推進協議会」という。）を置き、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 本部長の諮問に関すること。
 - (2) 生涯学習の奨励普及に関すること。
 - (3) その他生涯学習に関し必要なこと。
2. 推進協議会は、委員25名以内をもって組織し、学識経験者及び学習実践者その他関係機関の職員のうちから本部長が委嘱する。

（委員の任期）

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2. 補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第6条 推進協議会に会長及び副会長を置く。

2. 会長及び副会長は、委員の互選によって決定する。
3. 会長は、推進協議会を代表し、会務を総理する。
4. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときその職務を代理する。

（会議）

第7条 推進協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

(専門委員会)

第8条 生涯学習の内容を充実するため、生涯学習専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置くことができる。

2. 専門委員は、生涯学習について専門的な知識経験を有する者のうちから本部長が委嘱する。
3. 専門委員会の正副会長の選任、会議については、前2条の規定を準用する。
4. 専門委員会は、次の事項について研究協議し、本部長に報告する。
 - (1) 本部長から諮問された課題の調査・研究
 - (2) 資料、情報の収集及び検討並びにこれら資料等の提供
 - (3) その他必要な事項

(事務局)

第9条 本部の事務局は、大館市教育委員会内に置き、事務局長、事務局次長、その他必要な職員を置くことができるものとし、おおむね次に掲げる事項を行う。

- (1) 総合的生涯学習推進計画の策定に関すること
- (2) 推進協議会、専門委員会等に関すること
- (3) 文書、予算及び決算に関すること
- (4) 広報活動に関すること
- (5) 各機関との連絡調整に関すること
- (6) その他生涯学習推進について必要な事項

(幹事会)

第10条 幹事会は事務局長が招集し、会議の議長となる。

2. 幹事会は次の事項について協議する。
 - (1) 各部・課の生涯学習関連事業の連絡調整及び事業の進行管理
 - (2) 生涯学習関連情報の収集及び交換
 - (3) その他生涯学習推進上の必要な事項

(推進担当者部会)

第11条 推進担当者部会は部会長が招集し、会議の議長となる。

2. 推進担当者は次の事項について協議し、その実施及び推進に当たる。
 - (1) 各課（所）等間の生涯学習関連施策、事業の連絡調整
 - (2) 生涯学習に関する調査・研究・関連情報の収集及び交換
 - (3) その他、生涯学習推進について必要な事項

(生涯学習奨励員)

第12条 市民の学習活動を奨励し、生涯学習の推進充実を図るため、生涯学習奨励員（以下「奨励員」という。）を置き、次に掲げる事項を行う。

- (1) 市民の学習意欲の喚起に努める
- (2) 特技をとおして学習活動を援助する
- (3) 学習希望者の組織化を援助する
- (4) 学習上の相談に応ずる
- (5) 学習情報及び資料を提供する
- (6) その他学習に関し必要な事項
2. 奨励員は30名以内とし、奨励員として活躍が期待されるもののうちから本部長が委嘱する。
3. 奨励員の任期は、第5条の規定を準用する。

(奨励員協議会)

第13条 奨励員の設置趣旨に沿い、その成果を期するため、生涯学習奨励員協議会（以下「奨励員協議会」という。）を設置し、次に掲げる事項を行う。

（1）奨励員の研修等の実施

（2）奨励員の設置趣旨、役割、任務等の普及・遂行に務めるとともに、生涯学習推進関係機関・団体との連携を図る。

（3）その他必要な事項

2. 奨励員協議会に正副会長を置き、選任及び会議については、第6条及び第7条の規定を準用する。

(補則)

第14条 この要綱の定めるもののほか必要な事項は、そのつど本部長が決定する。

附 則

(施行期日)

1. この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

(要綱の廃止)

2. 大館市生涯教育推進本部要綱（昭和50年7月15日）は廃止する。

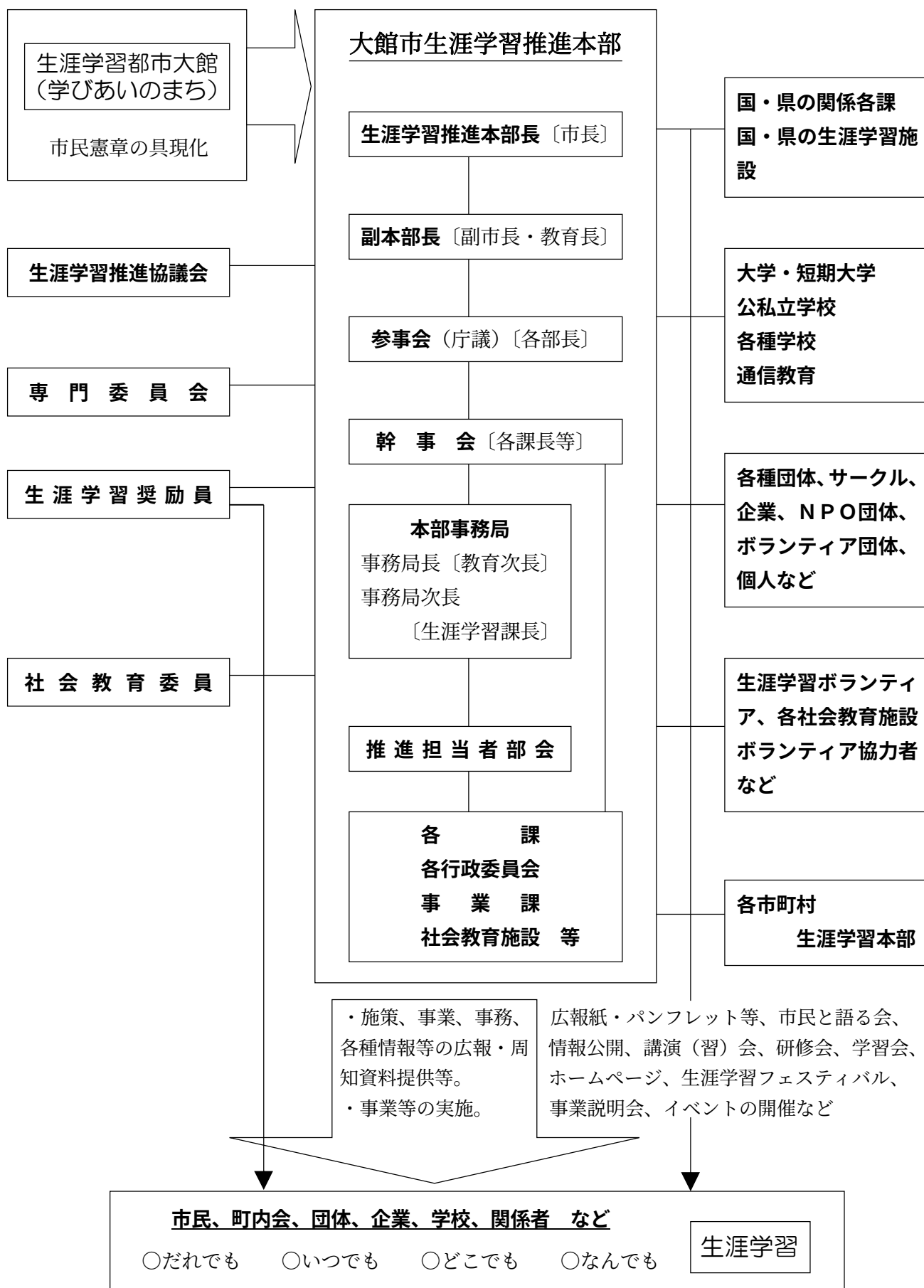
附 則 （平成9年12月15日改正）

この要綱は、平成10年1月1日から施行する。

附 則 （平成23年5月1日改正）

この要綱は、平成23年5月1日から施行する。

大館市生涯学習推進本部体制



令和 4 年度

大 館 市 教 育 要 覧

発 行 令和 4 年 7 月

発行責任者 大館市教育委員会 教育総務課

所 在 地 〒 018 - 3595
大館市早口字上野 43 番地 1

TEL 0186 - 43 - 7111 FAX 0186 - 54 - 6100

表 紙 ・ 令和 3 年度 伝統文化親子教室
・ 令和 3 年度 大館市・南種子町児童交流事業